



組合女性部活性化研究会

成果報告書



全国中小企業団体中央会

令和6年3月

はじめに

我が国経済は、原材料・エネルギー価格の高騰に伴うコスト上昇分の価格転嫁や取引適正化等の取組みが進められているものの、中小企業・小規模事業者においては、転嫁が進まず、コストを上回る賃上げ原資や利益の確保が困難である中で、構造的な課題とも言える人材の確保が急務となっております。

加えて、事業承継・事業引継、SDGs への取組み等に積極的に対応することも求められており、経営環境を巡る課題への対応が山積しているのが現状です。

国の「女性版骨太の方針2023」では、女性活躍と経済成長の好循環の実現に向けた取組みの推進が掲げられており、中でも地方・中小企業における女性活躍の促進に焦点が当てられております。

人口減少社会を迎え、我が国の持続的成長を実現し、社会の活力を維持していくためには、女性経営者等が組合女性部あるいは業種横断的な組織であるレディース中央会に結集し、個人では解決し得ない問題や課題に共同して取り組むとともに、積極的に情報交換を行い、個々の資質向上や組織活動強化のための方策を講じていくことの重要性がこれまでも増して高まってきていると同時に、その中心的な推進役となっていくことが期待されております。

このたび、本会では、現在の組合女性部の集合体であるレディース中央会の意義やあり方、今後の方向性等について論点を整理し、新たな組合女性部の活性化策の策定等に資するべく組合女性部活性化研究会を設置し、本報告書を作成いたしました。また、本報告書では、活動の主役である女性経営者の活躍事例を紹介しております。

本報告書が、これから本事業を実施しようとする中小企業組合等及び本事業を終了した中小企業組合等にとっても、より高い成果を得るヒントや成功へ導き出すためのきっかけとなり、ひいては、中小企業組合等のますますの活性化や発展に寄与することができれば幸いです。

最後に、本調査の実施にあたり、多大なご支援とご尽力をいただいた委員の方々をはじめ、本調査にご協力いただいた中小企業組合等の関係者の皆様に対し、深く感謝申し上げます。

令和6年3月

全国中小企業団体中央会

令和5年度 組合女性部活性化研究会実施要領

1. 趣 旨

労働人口が減少し続けている我が国において、女性の活躍は今後ますます期待されている。このような状況下において、組合女性部をより円滑に運営していくうえでは、女性経営者等の「人」の魅力を活かし、組合活動に寄り添ったコーディネート支援を展開していくことが期待される。組合員間の活発な交流・連携の推進といったさまざまなコーディネーションを展開していくうえでは、女性経営者等の魅力を発信し、活性化に資する女性活躍事例をPRしていくことが重要である。

そこで令和5年度は、全国のレディース中央会の組織及び活動状況を調査し、全国で活躍する女性経営者等の事例を収集することにより、全国のレディース中央会が現在置かれている状況や課題を抽出し、今後のあるべき姿を検討するとともに、組合女性部の魅力向上及び魅力発信を目的とする。

2. 実施方法

研究会は全3回の開催とし、第2回は各都府県レディース中央会会長等（25名程度）が参画し、各レディース中央会等の活動事例及び会員の特徴ある取組み事例等を踏まえながら、現在置かれている状況や課題を抽出し、今後のレディース中央会のあるべき姿を検討する。第2回研究会以降は、抽出した課題をもとに協議し、女性活躍事例の発信・PRについての検討を行う。

また、アンケート調査及び必要に応じてヒアリング調査等の実施により実態把握を行うこととする。委員構成については、次頁委員名簿のとおり。

令和5年度 組合女性部活性化研究会 委員名簿

全国中小企業団体中央会
(順不同・敬称略)

専門家委員

宇佐川邦子	株式会社リクルート Division 統括本部 HR 本部 ジョブズリサーチセンター長
諸星 貴美	株式会社エムキャリアサポート 取締役

団体側委員

吉田 陽子	宮崎県レディース中央会 会長
松野 ミツ	青森県中小企業団体中央会レディース会 会長
宮川 富子	しが中小企業女性中央会 会長
荒井美佐子	みやぎレディース中央会 会長
藤原 加奈	岡山県ものづくり女性中央会 会長

(担 当)
全国中小企業団体中央会 振興部

目 次

はじめに	1
令和5年度 組合女性部活性化研究会実施要領	2
令和5年度 組合女性部活性化研究会委員名簿	3
1 令和5年度組合女性部活性化研究会アンケート結果	5
会員(役員)向けアンケート結果	11
事務局向けアンケート結果	27
2 組合女性部活性化研究会実施報告	41
3 全国レディース中央会リレーインタビュー	49

1

令和5年度組合女性部 活性化研究会アンケート結果

～レディース中央会・組合女性部 事業活動調査～

概要

◆調査目的

全国のレディース中央会・都府県レディース中央会（女性部）の組織活動について、その状況や課題を把握し、今後のあるべき姿を検討するための基礎資料として実施した。

◆調査期間

令和5年10月13日（金）～24日（火）

◆調査対象

- ・都府県レディース中央会（女性部）役員
- ・都府県レディース中央会（女性部）事務局

アンケートまとめ結果

Q1 所属組織（貴レディース中央会）の目的

- ・経営者の資質向上（情報交換・交流、学び、意識）による中小企業・業界の発展、地域への貢献（女性経営者育成含）
- ・「女性の感性」活かす。
- ・地域の枠を超えたネットワーク、異業種、県政などへの働きかけ

Q2 所属組織への評価

- ・課題：会員数、高齢化
- ・良い点：場の雰囲気（フランク、和やか相談しやすい）参加者意識が高い。刺激・研鑽の機会。
※事務局と幹部への依存が懸案になる可能性もありそう

Q3 レディース中央会だからこその価値？（親会や他組織と異なる点は？）

- ・女性ならではの課題相談や研修・取組テーマ設定ができる
- ・感性を活かした刺激
- ・女性経営者という共通点で広くつながれる、他組織への提言などのパワーを得られる

Q4 所属レディース中央会（女性部）の特徴を一言

- ・ポジティブな集まり：前向き、活気、積極的、行動。
- ・学びの場
- ・つながり：架け橋、連携

Q5 所属レディース中央会（女性部）で掲げている実現したい姿、活動目的

- ・女性経営者自身の研鑽、次世代・地域女性育成
- ・女性ならではの活かした提言、産業創出、地域経済への貢献
- ・課題：会員増強

Q6 所属レディース中央会が力を入れている（重要）活動内容

- ・会員増員
- ・ビジネスチャンスの拡大
- ・ビジネスを通じた連携
- ・経営上の課題や問題点の解決

Q7 実現（実施）できていること

【手法】

- ・研修勉強会、交流の場（他県、会員間視察）
- ・広報（中央会職員持参含む）

【内容】

- ・経営者としての意識、知識、ネットワーク
- ・知識（新しい情報、スキルも）＋女性活躍テーマ

Q8 実現（実施）できていないこと

- ・中央会・女性部活動の認知アップ
- ・ビジネス連携
- ・会員増、参加数増（特に若手）
- ・経営者能力アップのための研修（体験談、実質的なもの含む）
- ・他団体、親会会員との交流
- ・各社、社員巻き込み

Q9 実現（実施）できない 阻害要因、障害は何ですか？

- ・会の認知が低い、特徴が伝えられていない（他団体との違い）
- ・会員意識が低い。一致しない。現役経営者以外は交流が主目的
- ・資金不足
- ・時間不足（経営多忙）余裕ない。他組織参加要請も多い。家事、家庭も忙しい

Q10 今後、取り組みたい・強化（欲しい）したいことは何ですか？

- ・会のブランドデザイン作成と周知
- ・会員増（若手）
- ・活動の外部発信（認知アップ）

- ・ビジネス交流、事業コラボ
- ・他、資金補助、会員による勉強会

Q11 Q10の実現に必要な要素、欲しい支援は何か？

自分・自社ができること

【会員増】

- ・薦める、周知（内外発信）、団体連携での情報交換、誘うため / 入会イベント企画
- ・事業（低予算で満足できる企画提案）

【自組織経営】

- ・女性雇用
- ・他社取り組みを自社の向上に活用

Q12 レディース中央会（女性部）で行うこと

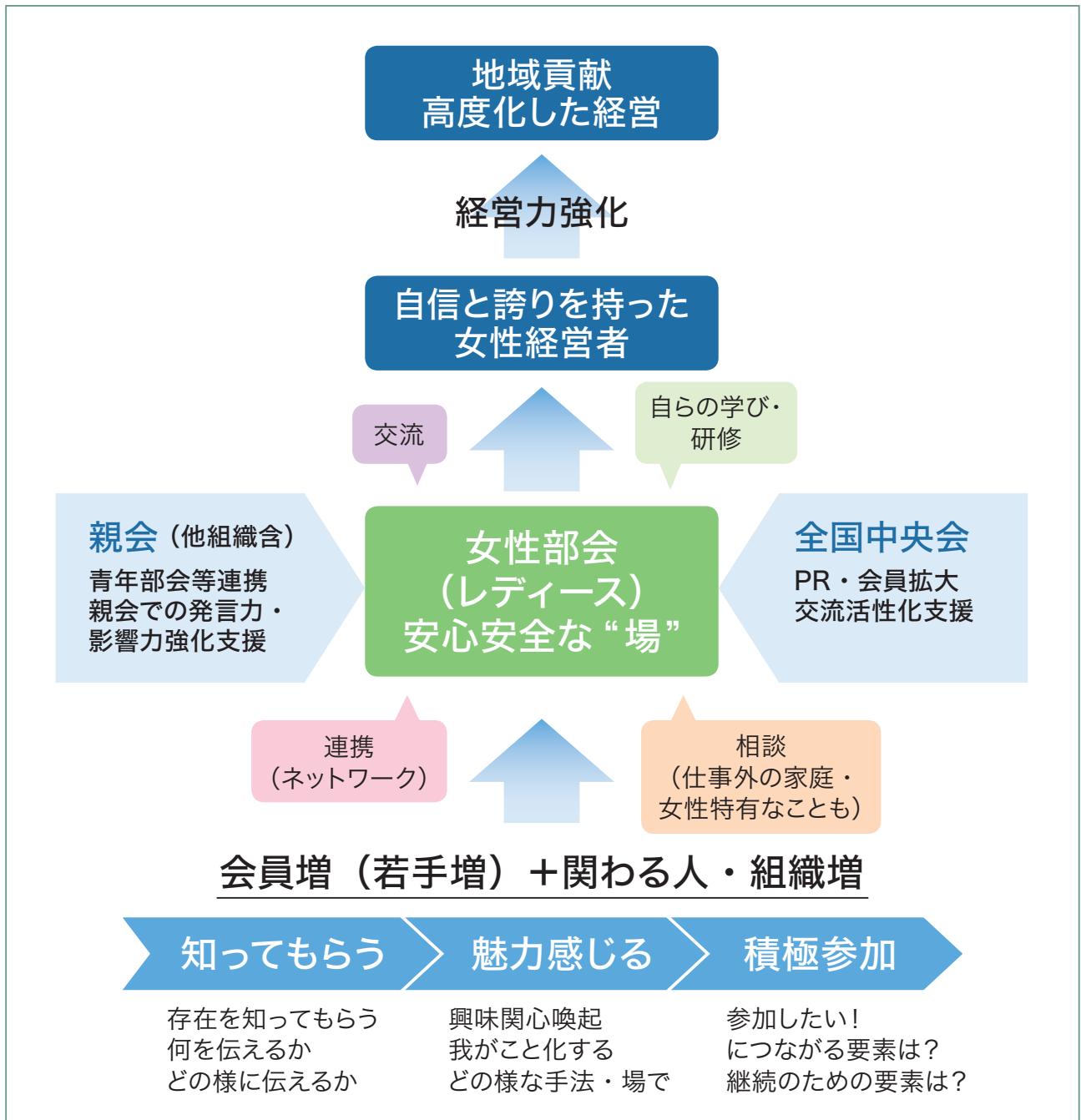
- ・活性化。会員向けコミュニケーションアップ、接続
- ・会員増、PR強化、PR資料作成、勧誘強化
- ・取り組み支援
- ・研修などの会員の質アップ

Q13 **Q14** **Q15** 期待すること

- ・新規会員加入の促進
会員を増やすことにより、事業参画への活発化・活動内容の充実をはかる
補助金、助成金の支給等による活動費の充実をはかる
- ・交流の促進による横連携の強化
交流の機会・ネットワークづくりの場を提供することにより、活動の輪の拡大をはかる
- ・PR、広報活動による周知強化

組合女性部活性化研究会全体ヒアリングでの主なコメント

- ・ 会員増の工夫：後継者（専務等）にも参加を促している
- ・ 周知の工夫：親会理事に女性登用できないか、後継者候補の女性に参加してもらえるよう男性経営者の協力を仰ぐ
- ・ 連携強化の工夫：行政等関係機関との関係性を活かし、SNS 等のコミュニケーションツールを活用しながら、キーマンとのコミュニケーションを密にはかる



会員（役員）向けアンケート結果

24都府県レディース中央会（女性部）及び組合女性部の役員を対象とし、令和5年10月13日～24日（火）の期間において、Webにて都府県レディース中央会（女性部）及び組合女性部の事業活動状況等の調査を行ったところ、延べ50件の回答があった。アンケート調査項目及び項目別の回答詳細については下記のとおりである。

会員（役員）向けアンケート原本①

【type-B】会員（役員）向け

令和5年度組合女性部活性化研究会アンケート
 <レディース中央会・組合女性部 事業活動調査>

令和5年10月

所属団体（女性部会）名

所属団体での役職・回答者氏名

◆趣 旨

本会では都府県レディース中央会（女性部）の組織及び活動状況等を把握し、下記の4つの立場※
 ※①会員（所属）企業自身、②レディース中央会（女性部会）、
 ③親会（中央会）、④全国レディース中央会（全国組織）における
 レディース中央会（女性部）の活性化に資する取組事案等を収集することにより、
 今後のレディース中央会及び組合女性部のあるべき姿を検討するため、ヒアリング調査及び
 アンケート調査を実施することと致しました。

◆イントロダクション（アンケート実施目的）

レディース中央会（女性部）の活性化を図るためという観点から、前提として
 「あなたが所属している組織（貴レディース中央会）」における下記3点についてお聞きします。

①「あなたが所属している組織（貴レディース中央会）は、何を目的として活動していますか？」

②「あなたが所属している組織（自組織）に対する評価」

③レディース中央会だからその価値は何だと思われませんか？（親会や他の組織と異なる点は何だと思いませんか？）

◆アンケート項目（概要）

i. 回答者属性について

1 所属企業・組合名

2 所属企業・組合での役職等

3 回答者氏名（ふりがな）

4 企業の主な業種

5 出資金額、従業員数（組合員等数）

出資金額： _____ 円、 従業員数（組合員等数）： _____ 人

会員（役員）向けアンケート原本②

ii. 女性部等における現在の活動状況等について ※以下、自由記述

1 あなたが所属されているレディース中央会（女性部）の特徴を一言で表すと、何ですか？

2 あなたが所属されているレディース中央会（女性部）で掲げている実現したい姿、活動目的は何ですか？

3 あなたが所属されているレディース中央会が力を入れている（重要だと考える）活動内容は何か？
※できているかどうかについては関係なくご回答下さい。

4 上記3. の実現状況を教えてください。

●実現（実施）できていること

●実現（実施）できていないこと

<実現（実施）できていないことについて>

阻害要因、障害になっていることは何か？

iii. レディース中央会（女性部）が活性化するために必要な事柄について ※以下、自由記述

1 今後、取り組みたい・強化（欲しい）したいことは何か？

（※誰が実施するか等、実施者は問いません）

2 上記1. の実現のために必要な要素、欲しい支援は何ですか？

自分・自社ができること

レディース中央会（女性部）で行うこと

親会（中央会等）に期待すること

全国中央会に期待すること

その他

Q1 あなたが所属している組織（貴レディース中央会）は、何を目的として活動していますか？

- | | |
|--|---|
| <p>1 女性の社会貢献、多方面の新たな情報を知り、皆に知らせること、情報交換などを目的としている。</p> <p>2 企業経営に関わる女性たちの「出会いの場」として経営に資する交流の機会創出</p> <p>3 組合女性部会に限らず、女性経営者らによる情報交換や連携を目的とした活動を行っている。</p> <p>4 会員の資質向上の為に勉強会及び異業種会員の交流、会員増強</p> <p>5 中小企業経営に関する研鑽、情報交換及び会員の交流を通して女性の経営意識を高めるとともに、中小企業の振興・発展に寄与すること</p> <p>6 女性経営者と女性専門家がタッグを組み、経営者としての資質向上と交流の場づくりを目的に活動している。</p> <p>7 企業経営や組合活動に携わる女性の交流と連携を促進し、女性の斬新な英知と感性を活かした経営革新、自己研鑽、新しい産業の創出を図り、もって地域社会・本県経済の発展に寄与すること</p> <p>8 自己研鑽と親睦</p> <p>9 ・企業経営や組合活動に携わる女性の交流と連携を促進。
・女性の英知と感性を生かした経営革新、自己研鑽、新産業の創出を図る。
・地域社会、本県経済の発展に寄与する。</p> <p>10 県内女性経営者、起業家の交流と自己研鑽のための機会づくり</p> <p>11 女性企業人の地域発展に伴う、企業人と経営者としての向上を図り、経営者同士、各女性部団体との交流を元に、地域貢献ができ、同じ志の企業人、経営者の増強に努めています</p> <p>12 会員の資質向上及び相互交流</p> <p>13 他社との交流を通して、自身・自社の資質向上をはかる。</p> <p>14 会員の資質向上と研鑽及び情報の取集と通知</p> <p>15 女性経営者としての交流の場、自己研鑽の場となっていると思います。</p> <p>16 組合等の連携体で活躍する女性の交流や研鑽の場をつくり、活躍の輪を拡大すること</p> <p>17 会員相互の連携を促進し、全国の会員との交流から学ぶ</p> <p>18 会員同士のコミュニケーションとスキル向上</p> <p>19 ・異業種の集まりであるレディース中央会の会員の社会進出
・地域の枠を超えたネットワークづくりの推進</p> <p>20 会員の資質向上と親睦</p> <p>21 会員の経営目線のスキルアップ</p> <p>22 共に学び、共に発展すること</p> <p>23 自分磨きのため</p> <p>24 会員の交流や研修会を通じて、自社の経営に活かすこと</p> <p>25 情報・知識の共有 自己研鑽向上</p> <p>26 異業種の企業や団体の女性経営者との交流、情報交換</p> <p>27 異業種間の交流や研修会等を通じて会員の資質向上を図り、女性の社会進出を目的とする。</p> | <p>28 女性特有の感性や英知を結集して、女性の新たな活躍を推進すると共に業界の振興・発展に寄与する</p> <p>29 女性経営者等が活躍するための能力開発と資質向上を目的とする組織</p> <p>30 女性経営者の資質公表、組合女性部の発展と相互親睦</p> <p>31 中小企業に係る女性の国・県等の施策・中小企業情勢に関する理解を深め、女性の英知と活力を中小企業に導入し、その振興発展に寄与すること。</p> <p>32 女性ならではの視点と感性でめっき業界に新しい風を吹き込み、女性が活躍できるめっき業づくりを目標としています。</p> <p>33 中小企業経営に関する研鑽、情報交換及び会員の交流を通して女性の経営意識を高めるとともに、中小企業組合運動の向上に資することを目的としています。</p> <p>34 会員の資質向上と組織の強化</p> <p>35 異業種の女性経営者等との交流を通じたネットワークづくりや各種研修参加による自己研鑽を目的としている。</p> <p>36 異業種間の経営に携わる女性同士の交流を通し、各分野についての様々な情報交換を行うこと。また、研修会に参加し自己の知識や気づきを高めることを目的としている。</p> <p>37 資質向上に向けた視察研修、座学研修などの勉強</p> <p>38 働き方改革などの施策推進、具体的な提言、研鑽などを通じて、県内ものづくり製造業の発展や地域のダイバーシティ実現に寄与。</p> <p>39 県下の女性経営者等が手を携え、女性の持つ斬新な英知と感性、そしてパワーを結集すると共に、相互の研鑽を図り、広域的連携と交流促進を通じて地域社会及び中小企業の振興発展に寄与することです。</p> <p>40 女性経営者や組合運営に携わる女性役職員が相集い、個人では解決できない課題に取り組むとともに、情報の提供・取集と相互の交流を行うネットワークを構築することにより、女性経営者等の経営革新及び起業する女性の支援を行うとともに、組合間連携を強化し、本県中小企業等の振興発展に寄与することを目的とする</p> <p>41 県下の女性経営者等が手を携え、女性の持つ斬新な英知と感性そしてパワーを結集するとともに、相互の自己研鑽を図り、会員相互の情報交換、県政についての知事との懇談会、県議会との懇談会等、交流促進を通じて地域社会及び中小企業の振興発展に寄与することを目的に活動を行っている。</p> <p>42 共通の課題、問題の解決、未知の分野の紹介</p> <p>43 個人では解決できない問題や課題を共同で取り組み、情報の交換を積極的に行い、企業活動を強化する。</p> <p>44 現代社会の多くのことが理解できるように活動している。</p> <p>45 地域の活性化において女性部として重要な役割を果たす</p> <p>46 ・経営に携わる立場として、必要とされる情報取集と知識の習得
・会員同士の交流</p> <p>47 特になし（2件）</p> |
|--|---|

Q2 あなたが所属している組織（貴レディース中央会）に対する評価

- | | |
|--|--|
| 1 良い。よくやっている／評価している／満足（複数回答あり） | 25 研修会や講習会など興味深いものが多いです。 |
| 2 会員が次第に高齢化してきているので、新入会員の入会を促し和やかながらも活発な会になるよう努力している | 26 他業種との交流などにより様々なことを勉強できている。会員の前向きに仕事に取り組む姿勢はとても刺激になっている。 |
| 3 素晴らしい方々の集まりで学ぶ点が多いです。 | 27 自己研鑽を高めてくれる |
| 4 普段は懇談できない、県の方々とのお場を持てる。 | 28 会員同士のコミュニケーションが取れており、女性部としての連携も取れている。 |
| 5 90%（理由：参加率が100%でないため） | 29 会員同士が連携して活動できている。 |
| 6 満足しております。 | 30 県内の経営に携わる女性たちと知り合えることは大変メリットがある |
| 7 非常に良い組織であると思っている。フランクに話せる、良い雰囲気である。経営者意識が強い人が多い。 | 31 中央会事務局の細やかなサポートにより、年間スケジュールが計画どおりにスムーズに実施されており、会員も参加しやすい環境である。 |
| 8 会員相互の交流についてはある程度充足しているが、どうしても役員主体になる。 | 32 会員同士が切磋琢磨し、自身の経営能力向上に各会員が繋げている |
| 9 「あいち女性中央会」は2005年愛知万博を機に結成されたと聞いています。先人、諸先輩方の設立時からのご活躍で会が保たれてきました。今年会長が変わられたことにより、第二創業期のような段階にいると評価しています | 33 常にメンバー各位が積極的に行事に参加し、情報の収集や研鑽に励んでいて社会人として、女性として母として素晴らしい女性の集まり |
| 10 事業実施を、とおして会員相互の啓発と親睦を図る事が出来た。 | 34 年2回ほどのセミナーを開催し、情報の提供、相互の交流をし、多くの方に参加していただいているが、まだ発足から2年目なので、手探りの所がある。 |
| 11 まだ組織化されて浅いが、会長の人柄によりリーダーシップをとる役員に連帯感がある。よって趣向を凝らした企画や内容で事業が運営されている。また、支援してくれる事務局の担当の女性の配慮で役員員の負担が軽減されている。事務局なくして運営はできない | 35 東京塗料商業協同組合においては、本性の力を出してもらっていない。当社としては、プロ意識の不足 |
| 12 会員の増減は少ないが、新しい出会いと内容の濃い勉強会を進めてもっと会員を増やしていきたい | 36 研修会や情報交換が自社の刺激になり、女性ならではの共通の課題を参考にできることに評価している。 |
| 13 自身が所属している業種やエリア外の方と交流することで視野が広がったり仕事についての新しい発見や気づきを得ることができる。 | 37 もっと拡大できて活躍できたらと思います |
| 14 会員同士の交流は良好。会員数が低迷気味。若い経営者の入会を望む。 | 38 事務局の事務的サポートも良好で円滑・活発な運営が出来ている |
| 15 非常に温かい雰囲気の良い楽しい組織であり、活動に参加する度に新しい刺激があり、意欲が向上する。 | 39 所属会員の所在に偏りがあり、県内全域としての活動が出来ていない。（難しい） |
| 16 宮崎県レディース中央会の考えに賛同しております。 | 40 評価の基準が不明の為、回答不明 |
| 17 長期に渡り活動している会員が多いこともあり、お互いの意思の疎通が計りやすいので、良い会 | 41 特に組織に属していない。 |
| 18 100%近い満足です。積極的な開催をしてくださっております。 | 42 特になし（5件） |
| 19 少数精鋭で事務局との連携もとれている | |
| 20 会員の増強が急務 | |
| 21 講習会や交流会の参加数が少なくなってきており少し残念 | |
| 22 研修会を通じていろんな方の講演を聴く機会が多く自己研鑽になる | |
| 23 県全体での組織であるため、東部・中部・西部で役割をもって会員相互での交流ができ、各事業も事務局を通して協力できている | |
| 24 親組織、全鍍連の機関紙の巻頭言を投稿する組合役員の一員として投稿を依頼されましたので、女性部会がそれなりの評価を受けたのではと思っております。又、次回の全鍍連常設委員会への参加を依頼されておりますので常設委員会の下部組織として評価を受けている | |

Q3 レディース中央会だからその価値は何だと思われますか？ (親会や他の組織と異なる点は何だと思えますか?)

- | | |
|--|--|
| <p>1 女性経営者又は経営を支える女性同士の会として共通の課題や問題点などを話し合える組織として重要な役割を負っている。</p> <p>2 異業種の女性経営者が集い、旬の情報に触れて学びを深め、和やかに交流できること</p> <p>3 男性女性問わずといわれている昨今ですが、実際にはガラスの壁やスカートを踏まれている現状があります。また経営者と言う観点からは男性/女性の動き方に違いがあるように思うのでこの組織の同性ならではの諸先輩の経験値や助言が頂けるところに価値を見出だしています。</p> <p>4 女性が参加しやすいところ。起業家や組合事務局にとって参加しやすい場である。女性とひとくりにできない事業規模や家庭環境などそれぞれの背景があるが、託児を設ける、平日の日中に事業を行うなど女性の参加しやすい環境が整えやすい。そんな体制を作る必要があると思っている。いずれは先輩参加者の育児介護体験など話す場を設けて、若い方々の自信とロールモデルの例につなげてほしい。</p> <p>5 底辺での女性経営者の起業を始め、儲かる経営のやり方などの勉強会を始め、まず県内、次に九州内、全国への経営者の繋がりを活発にしていく活動の活発化</p> <p>6 女性の感性や感覚がマンネリ化を刺激し新たな可能性を発掘することが出来る。</p> <p>7 女性には子育てや家事、更年期障害など社会で活躍するには足かせとなるものがありますが、同じ立場の者同士が交流し情報交換して経営に活かせることができれば意義があると思う。</p> <p>8 異業種の経営者や、各組合員企業の事務局、女性部等との交流を図ることができる。いろいろな問題点もあれば共通点もあり、共有しながら参考になることも多い。</p> <p>9 何事にも、女性ならではのしなやかさ・華やかさ、忍耐強さ、ポジティブシンキング</p> <p>10 親しみやすさ</p> <p>11 女性が主体で活動できる</p> <p>12 女性経営者として悩みの共有や新しい学びを得ることができること</p> <p>13 吉田会長の会員に対する気遣いと思いやり</p> <p>14 女性目線の価値観の共有</p> <p>15 女性ならではのセミナーの開催など、女性の視点での研修ができること</p> <p>16 少し先取りして知識を吸収出来る所</p> <p>17 悩み事があればオープンに話が出来てアドバイスが頂ける雰囲気があり、とても価値感を感じています。</p> <p>18 活動を通じて会員が連携し、女性ならではの視点で力を発揮し、活躍の推進、また相談等ができる</p> <p>19 中央会のサポートが充実しているので、いろんな相談ができるのは良いと思います。全国の女性会の方の活動報告があるので刺激になるのが一番良い点かと思っています。女性の連携が、社会を変える気がします。</p> <p>20 意見交換会等をおこなえるような、県との深いパイプがある。</p> <p>21 女性だけの会だからです。職場においてまた組織として女性の目線からみた物事の見方、改革等、何でもお互いに話し合える点。</p> | <p>22 女性の地位向上</p> <p>23 全国の女性経営者との交流</p> <p>24 企業経営に関わる女性の新たなネットワークづくり</p> <p>25 男女平等といってもやはり女性の柔らかさや思いやり、忍耐力はすてきだ</p> <p>26 経験豊かな女性会員さん達との交流等、会へ参加は魅力があります。</p> <p>27 会員または会員以外の方との交流もでき、気軽に参加できる場所が良い。</p> <p>28 女性ならではの視点からの意見交換や見聞を広める(複数回答あり)</p> <p>29 異業種に所属する方と女性ならではの視点での情報交換でき、ネットワークを広げることができる点。</p> <p>30 時代にあった女性らしい柔軟性</p> <p>31 普段関わることのない業種の人たちと関わることができる</p> <p>32 しなやかで繊細な考え心遣い アクティブな行動力</p> <p>33 異業種の経営に携わる女性との交流によって新たな発見や情報を得ることができ、自己の所属団体や自社の経営の参考にすることができる点。</p> <p>34 地域で生活、事業をする時の女性目線と細やかな思考</p> <p>35 「みえ子育てWAON」、「三重県子ども基金」への寄付など女性の特性を生かした社会参加です。</p> <p>36 女性に特化したセミナーを開催出来ること。女性の横の繋がりを強化することができること。</p> <p>37 様々な意見をオープンで聞けます。力強さ、一人ではない。異業種での共通点や相違を知れる。</p> <p>38 まだまだ経営者や組織の中心は男性が多いが、女性しか考えられないような経験や現状をきくことができる。</p> <p>39 お互いに他の組織を認め合い協力しあい活性化できればと思います</p> <p>40 県の方針や施策にも近い活動が出来る。多少の制約はあるが、各会員が女性経営者としての意見を発信できる環境があること。</p> <p>41 ・女性経営者や事務局の悩みや課題を共有し、交流を通じて課題解決に向けて取り組める場であること。
・親会との連携が取れていることから、親会を通じて青年部や他の団体との連携も取りやすい。
・親会の行事にレディース中央会会員も参加することも多く、レディース中央会の存在をアピールしやすい。</p> <p>42 他県の女性経営者との交流</p> <p>43 女性の持つ斬新な英知と感性そしてパワーを結集した団結力
会員の知識向上、地域貢献、子どもの貧困対策等</p> <p>44 特になし(6件)</p> |
|--|--|

Q4 あなたが所属されているレディース中央会（女性部）の特徴を一言で表すと、何ですか？

- | | |
|--|--|
| 1 皆様とても知識抱負、思い遣りのある、行動力のある団体です。 | 21 団結・連携・実行／団結力（複数回答あり） |
| 2 人と人 企業と企業をつなぐ「架け橋」 | 22 ・研修会の講師選定が凄く良い。
・視察研修（県外：年1回）もいつも有意義な研修である。
・会員の親睦もすばらしい。 |
| 3 それぞれの事業に役立つ情報交換の場 | 23 電気めっき業の全国組合の中の女性経営者による部会 |
| 4 良く学び 良く遊ぶ みやぎレディース中央会 | 24 企業経営にかかわる女性たちの「出会いの場」として、経営に資する交流の機会創出のため、人と人、企業と企業をつなぐ「架け橋」として、様々な活動を行っています。 |
| 5 「和」一ゆるやかな連携
設立時に発起人の”知り合い”から始まっているので、他のチャネルから参画した私は違和感を解消するのに時間がかかった。本業以外の活動であるので、ガッツリ組まなくてゆるやかな連携で良いのだと理解した。 | 25 積極的・前向き |
| 6 会員のネットワークが機能し女性部の事業活動が企業経営に有益に働いている。 | 26 参加者は限られているが、とてもまとまって活動している |
| 7 本来、中央会の立場から言えば構成員は各組合の女性部だが、個人会員が多いのが実状である。個人会員（女性経営者）が多く、元気である。会に活気がある。 | 27 自分磨きができる「自己研鑽の場」と考えている。
（会員には研修会があるたびにそう話している。） |
| 8 勉強熱心・柔和 | 28 異業種の集り
会社・店経営でも女性が一番の働き手 |
| 9 ほっとできる組織です。 | 29 学びの場所 |
| 10 女性向上支援会 | 30 ものづくりに特化している。 |
| 11 年齢や職種を問わず気軽に交流が出来る | 31 各位のポテンシャルパワーです。 |
| 12 高齢女性中央会になりつつある。 | 32 多様な業種・経営形態の個人会員が所属する多様性のある団体 |
| 13 会員の方々が前向きなチャレンジ精神を持っていること | 33 他分野に渡りクロスオーバーな見方を知れます。 |
| 14 個性溢れる素敵なレディの集まりです。 | 34 親会や青年部に応援してもらい、活発な意見交換や研修ができる |
| 15 楽しい | 35 女性の持つ斬新な英知と感性そしてパワーの結集 |
| 16 経営に対しての勉強 | 36 女性の活躍推進 |
| 17 みんながお互いの良さを知っている事 | 37 活動の主体が「女性塾」という学びの場の提供で、中央会の支援事業や各種情報を収集し経営者としての資質の向上に繋げることができる。 |
| 18 共に学び共に発展していくことを目指す会 | 38 特になし（10件） |
| 19 女性経営者の最高の研修場 | |
| 20 少ない人数でも団結して動いている | |

Q5 あなたが所属されているレディース中央会（女性部）で掲げている実現したい姿、活動目的は何ですか？

- | | | | |
|----|---|----|--|
| 1 | 新しい知識を持って、生活に役立てる活動をして活きたい。 | 19 | 常に経営者としての資質向上を目指す |
| 2 | 事業経営に役立つ情報交換 | 20 | 会員の増員（複数回答あり） |
| 3 | 女性経営者としての資質向上を計り異業種交流を促進し、各人が抱えている諸問題に取り組む糸口をつかめるようにすること | 21 | コミュニケーションスキルアップ |
| 4 | このテーマについて議論したことが無いような。大前提はイントロダクションの①掲げた内容ですが、具体的なマターとスケジュールの議論はしていない、もしくは私が理解していない。 | 22 | ボランティア活動 |
| 5 | 女性の立場から県内自治体や行政に働きかけを行い政策提言を行う。 | 23 | 私たち一人一人が自らを磨き、貢献し、めっき業界を前進させる個としてのさらなる成長や変革を目指し、活動を行っている |
| 6 | 企業経営や組合活動に携わる女性の交流と連携を促進し、女性の斬新な英知と感性を活かした経営革新、自己研鑽、新しい産業の創出を図り、もって地域社会・本県経済の発展に寄与すること | 24 | 企業経営にかかわる女性たちの「出会いの場」として、経営に資する交流の機会創出のため、人と人、企業と企業をつなぐ「架け橋」となること。 |
| 7 | 先述と重複しますが、県内各地に女性団体はたくさんあります。しかし中央会は地域（市町）のしからみなく集える場。また事務局の女性も参加していただき組合特有の課題を話せる場。県内各地で活躍する会員に刺激を受けて広い視野を持てる女性部でありたいです。 | 25 | 会員一人一人の資質の向上と、交流 |
| 8 | 女性成長 | 26 | 相互の自己研鑽と広域的な連携による男女共同参画社会の実現です。 |
| 9 | 経営者としての資質の向上や異業種間の交流 | 27 | 研修会や視察研修などを通して会員の資質向上を図り、女性の社会進出に繋げる。 |
| 10 | 若手女性経営者の増強。資質向上に向けた交流 | 28 | 働き方改革などの施策推進、具体的な提言、研鑽等を通じて県内のものづくり製造業の発展に寄与する。 |
| 11 | それぞれの個人が自身の向上を願い参加している | 29 | 個人では解決できない課題に取り組み、情報の提供・収集と相互の交流を行うネットワークを構築することにより、女性経営者等の支援を行い、本県中小企業等の振興発展に寄与することを目的とする。 |
| 12 | 個々の体験など共有し今後の経営に生かすことが出来ると良いと思います。 | 30 | 前を向いてゆける |
| 13 | 組合等の連携体で活躍する女性の交流や研鑽の場をつくり、活躍の輪を拡大すること | 31 | 会員数を増やして若い会員の考えを聞きたい。意見交換にもっと期待する。 |
| 14 | 資質向上と親睦（複数回答あり） | 32 | 本会は、県下の女性経営者等が手を携え、女性の持つ斬新な英知と感性そしてパワーを結集するとともに、相互の自己研鑽を図り、広域的連携と交流促進を通じて地域社会及び中小企業の振興発展に寄与する。 |
| 15 | 女性の英知と柔軟さで、後世の世代を育成をしていく。 | 33 | 地域の活性化において女性部として重要な役割を果たす |
| 16 | 会員間の深くあたたかいつながりを実現したい | 34 | 女性経営者としての目線を共有し、地域企業の活性化に繋げること |
| 17 | レディース会員同士の親睦・研修・研鑽・他県（鳥取県）との交流等 | 35 | 特になし（11件） |
| 18 | まちを元気にする人を作る（女性）を応援すること | | |

Q6 あなたが所属されているレディース中央会が力を入れている（重要だと考える）活動内容は何か？

- | | | | |
|----|--|----|--|
| 1 | いろいろな業種の方々のお話が、毎日の生活に繋がります。 | 14 | 一人でも多くの会員の参加を目指す |
| 2 | 会員の為の経営講座や研修会の開催、会員企業の訪問、他企業の視察 | 15 | ①会員増員
②ビジネスチャンスの拡大 |
| 3 | 女性経営者の資質向上と相互研鑽を図ること | 16 | ・会員の資質向上を図るために実施する研修会、視察研修等
・業種、地域の枠を超えた会員間のネットワークの強化 |
| 4 | ・SDGsについて
・ローカル地域として地域の発展、男性社会ではできないこと
・男女共同参画事業推進 | 17 | 資質向上のための研修など |
| 5 | ビジネスを通じた連携
経営上の課題や問題点の解決 | 18 | 会員の経営能力向上及び研鑽のための勉強会（自分自身のため、会社のため） |
| 6 | ・女性活躍推進に向けての事業
・会員間の交流事業
・行政との交流による意見交換
・現場からの提言
・SDGs、DX、GX など未来に向けての取組み及び研修会 | 19 | 勉強会、DX 等最新分野の紹介 |
| 7 | ・レディース中央会の会員一人一人の資質向上
・地域の枠を超えたネットワークづくりの推進 | 20 | がんばっているが、広報活動をもっと盛んにしたい。 |
| 8 | 特定の活動は行っていないが他団体とも協力してさまざまな活動を行っている（例：おかみさんサミット in 宮城・東北への協力 旬の施設見学、仙台に引越してきた方々のサポートを「まちなか女子部」と連携して実施） | 21 | 青年中央会との交流、全国及び他の女性部との交流、子供貧困対策 |
| 9 | 「みえ子育てWAON」に類する活動です。 | 22 | ・経営に必要な知識の習得（女性塾内容の充実）。
・経営者同士の交流（県内外）。 |
| 10 | ・三重県知事との懇談会、三重県議会との懇談会
・三重県の子どもの貧困対策への協力として「みえ子育てWAON」の普及及び推進
・交流促進に関する事業 | 23 | 会員の親睦・会員の増強 |
| 11 | できたばかりの組織なので、まずは参加しやすい体制づくりと会員同士の交流に力をいれている。 | 24 | 研修会、交流会、勉強会（複数回答あり） |
| 12 | 研修会、基調講演会、意見交換会などによる研鑽や部会員同士の交流と情報交換 | 25 | 現在は、女性の仕事での成長と向上 |
| 13 | 事業計画への参加 | 26 | 会員同士の異業種交流。会員増強。 |
| | | 27 | 他県の中央会レディース部会と交流し、互いに情報交換を行う |
| | | 28 | ・会員企業の視察研修
・会員との情報交換や体験談の共有 |
| | | 29 | 視察関連事業、研修会、交流会、会員相互の親睦及び福利厚生に関する事業 |
| | | 30 | 女性同士の出会いの場となる事 |
| | | 31 | 特になし（11件） |

Q7 Q6の実現状況を教えてください。実現（実施）できていること

- | | | | |
|----|--|----|--|
| 1 | インボイスの情報 | 18 | ・研修会や視察研修などへの積極的な参加
・レディース中央会活動のPR |
| 2 | 研修会等による意識向上 | 19 | 会員間の親睦、交流（複数回答あり） |
| 3 | 経営上の課題や問題点の解決 | 20 | 講習会、研修会など |
| 4 | 会員間の交流、勉強会、他団体と協力しての活動 | 21 | 組合員数の多い団体での参加者が多い |
| 5 | 年間予定で立てた回数は実施している | 22 | ・研修会（年2回）、視察研修（県外又は県内：年1回）の実施
・商工3団体女性部会との合同研修会、ボランティア活動など
・会員間の交流（協調性が素晴らしいこと。） |
| 6 | ・しなや華塾（研修会）実施年2回
・委員会（研修・交流・広報）での情報共有や連携 | 23 | 今年は全国フォーラムで実現できていないが、自分自身の経営能力向上のための勉強会は実施できている。（採用、エンゲージメント向上など） |
| 7 | まだ組織として立ち上がってから浅いですが、交流は始まっています。中央会が各種支援事業のパンフレットなど持参してくれます。 | 24 | 年に2回、セミナーと交流会を開催しており、会員相互で交流を図る機会を設けている。 |
| 8 | 年間数回、県内活躍企業訪問と県外視察 | 25 | どの回も有意義でした。 |
| 9 | テーマやエリアを決めて研修を行っている | 26 | 会員相互の関係の良さ。積極的な取り組み。 |
| 10 | 親睦に繋がる交流会。会員増強。 | 27 | 実現できている・ほぼできている（複数回答） |
| 11 | 他県との交流と企業視察 | 28 | 女性塾に関しては、会員の意見を取り入れて必要かつ楽しめる内容を検討している。 |
| 12 | 会員企業の視察研修 | 29 | 特になし（12件） |
| 13 | 情報交流 | | |
| 14 | 定期的なイベントの開催 | | |
| 15 | 会員の資質向上のための研修会 | | |
| 16 | 四国大学教授を招いてのSDGsの講演。女性活躍推進ロールモデルについての勉強。 | | |
| 17 | 女性も活躍するための勉強会（講習会）等を実施している | | |

Q8 実現（実施）できていないこと

- | | | | |
|----|--|----|---|
| 1 | コロナの影響による定期的な情報交換が出来なかった | 15 | 全レディース会員に情報発信が充分でないこと。もっと深掘りした実現可能な内容の情報発信をしたい。 |
| 2 | ビジネス連携 | 16 | 社会全体において女性の活躍の場が少ない |
| 3 | 会として目指す特定の活動は行っていないこと
レディース中央会とはどういう会か、会の活動内容等を広報すること | 17 | 参加人数の減少 |
| 4 | 各女性部を増やすこと
中央会の活動を知ってもらうこと | 18 | 他団体との交流 |
| 5 | 会員の増強（複数回答あり）／会員を増やすことがなかなか難しい | 19 | 出来ていないことはない |
| 6 | 個々に問題はあ | 20 | 事業計画への参加ができていない |
| 7 | まだ模索中。参加者数をもっと増やしたい。 | 21 | 個人会員や組合の代表者が一人のところが多く、人数も増えない |
| 8 | 女性企業人の向上の勉強会参加が少ない事 | 22 | ブロックの枠を超えての交流
フォーラムは日常活動の集大成と考えて、各県ブロックは年に1回でも実施できれば実現したい。 |
| 9 | 経営者としての実務的な勉強会 | 23 | 各社の社員を巻き込んだ取組みはまだ実施できていない。（マネジメント研修など） |
| 10 | 若手女性会員の増強。 | 24 | まだ回数を重ねられていないため、深い交流にはつながっていない。 |
| 11 | 親会企業の方との交流会 | 25 | 事務局が東部にあり会員も東部在住がほとんどで、全域での活動が出来ていない。 |
| 12 | 会員との情報交換や体験談の共有
⇒体験談を話したり聞いたりするのがごく一部分。 | 26 | 特になし（22件） |
| 13 | 私事により参加できていない事 | | |
| 14 | 全体の若返り | | |

Q9 <実現（実施）できていないことについて> 阻害要因、障害になっていることは何ですか？

- | | |
|---|---|
| 1 今後は計画通りに進むことが可能 | 12 青年部と女性部は同格であるのか?という点。 |
| 2 コーディネーター機能の不足 | 13 苦い経験などは余り知られたくないという気持ちがある方も多いかと思います。 |
| 3 ものづくりや環境活動のような活動を目的として会が創設されていないので、会員もボランティア活動のような活動を望んでいないこと
又活動を実施する際に充当する資金の不足 | 14 家庭 |
| 4 敢えて言えば時間的制約でしょうか。
正直申し上げて、主たる自分の事業に一番注力し、他の団体の活動や、他の情報源からのセミナーへの参加等があり、あいち女性中央会に掛ける時間も限界がある。 | 15 今のトレンドが、よくわからない事 |
| 5 会員間の相互理解の不足と会員の向上心の欠如。
自社の会社経営のみに追われ、経営者に余裕がない。 | 16 まだ地盤が育っていない |
| 6 そもそも知られていないこと | 17 ジェンダー問題（男女の格差等）偏見が障害となっている |
| 7 コロナ | 18 業務多忙のため |
| 8 会員の考えが一致しないこともある | 19 事業への参加ができない状況にある（自身が） |
| 9 女性団体など団体が多いので、中央会ならではの特長を伝えきれていないのではないのでしょうか。 | 20 県内が広範囲であること、また、女性という立場上、家庭や仕事優先で参加しにくい人もいる |
| 10 社会的に男性社会が横行しており、女性管理職の起用がない事
法律で決めない限り女性が活躍できる時代は程遠いななどの年になっても感じています | 21 各ブロックごとの親会の理解度と協力体制の違いなど |
| 11 女性経営者といっても、現役でない方やあまり経営に携わっていない方は学ぶというより交流に主眼を置いている方もいらっしゃるのでは、勉強オンリーの会を開催するのが難しいような気がします。 | 22 ものづくり業に特化しているもので、共通課題が比較的に見つけ易いが、各社で取組みのステージが異なる。 |
| | 24 まだ発足から2年目なので、手探りで進めている状況であるため、時間が必要。業種や所属の法人形態、役職等が分かれているため、共通テーマを見つけるのが難しい。 |
| | 25 まだよく内容の広報がされていない。 |
| | 26 移動距離が長く交通手段が限られているため時間的な負担が大きく、会員増強も難しい。 |
| | 27 特になし（24件） |

Q10 今後、取り組みたい・強化（欲しい）したいことは何ですか？
（※誰が実施するか等、実施者は問いません）

- | | |
|---|---|
| 1 参加している方々が楽しく、お友達を誘い広めたい。 | 16 情報交流 |
| 2 女性会員を増やすことで、より強いネットワークの構築 | 17 外部発信の強化 |
| 3 ビジネス交流 | 18 女性でも県政にまで携わっていける土壌づくりの地域活動 |
| 4 食品ロスや廃棄物減量への取り組みなどの環境活動、女性が働きやすく活動する為の労働環境の改善など | 19 本会の存在を周知してもらうこと |
| 5 そもそもジェンダーレス時代において「レディース」という名称を継続するのかという公のコメントが出ていないし、グランドデザインが描けていない（＝周知されていない）のに、狭義で提案、議論しても意味がないように思います。「レディース」を否定しているわけではないです。 | 20 会員の増強（1組合から1名の会員を出していただきたい） |
| 6 会員数の増強と外部への事業活動の発信を行い社会に認知してもらう | 21 新規会員の加入促進（＝会員が増えれば活発な意見も出るだろうし、視察研修や研修会も活気が出ると思う。） |
| 7 ・会員間の繋がり強化
・各組合に女性部及び女性理事長が誕生すること
・事業のコラボレーション | 22 現在、会員が高齢化していることもあり、若い人に加入してもらい、活動を活発にしたい。 |
| 8 会員の増強（複数回答あり） | 23 会社経営の為の情報収集 |
| 9 資金がないと参加者の負担感が強いので、事業に対する補助金獲得（中央会、県や国を含めて）。 | 24 徐々に世代交代して、持続的な活動を目指す |
| 10 女性企業人の参加を増やしたい | 25 ・新規会員の加入促進
・ネットワークの強化
・レディース中央会のPR強化
・ブロック内交流及び他のブロックとの交流 |
| 11 メンバーの固定化と高齢化が進んでいるので、新しいメンバーに加わってもらうこと | 26 ボランティア活動（子ども食堂） |
| 12 若い経営者の入会促進。異業種交流。 | 27 各会員の更なる経営力向上のための勉強会。 |
| 13 会員の増強 | 28 自己研鑽です。 |
| 14 趣味の発表会など出来たら、より個人を知ることが出来て親睦が深まるのでは？ | 29 ・会員による勉強会を開催し、相互に学びあうこと。
・協議会で独立して、活動ができるようになること。（今は、中央会の100%補助で活動） |
| 15 レディース中央会の活動を企業側に理解してもらい、参加しやすい環境を整えたい | 30 新しい分野や勉強会 |
| | 31 若返りに力を入れる。 |
| | 32 現状で充分だと思います。 |
| | 33 特になし（15件） |

Q11 Q10の実現のために必要な要素、欲しい支援は何ですか？ 自分・自社ができること

- | | | | |
|----|------------------------------------|----|--|
| 1 | お店、会社の経営者に薦めること。 | 18 | 会員増強 |
| 2 | 親会、青年部との連携による情報交換 | 19 | 声かけで加入促進に努める |
| 3 | 企業の取り組み紹介 | 20 | ・研修会や視察研修などへの積極的な参加
・レディース中央会活動のPR |
| 4 | 個人の活動だけで取り組みたい活動やその強化はむずかしい | 21 | 目的と意義をちゃんと伝えてレディース中央会をPRすること。 |
| 5 | 人脈を生かし自社の取引先や所属組合に女性部会の活動を周知してもらう。 | 22 | 自分の意志 |
| 6 | 地域での連携 | 23 | ゆるーく実現していければ。と |
| 7 | 出来るだけ多くの方に声をかける | 24 | 組合との話し合い、提案等 |
| 8 | 低予算で参加者が満足できる事業の提案。 | 25 | ・活動内容の情報発信
・商工3団体女性部会活動への協力支援 |
| 9 | やる気ある女性の雇用 | 26 | 年ごとに、各社で共通の経営課題となっている重点的なテーマを設定 |
| 10 | 知人を誘ったり、入会のきっかけになるようなイベントを企画すること | 27 | 研修会に参加する。 |
| 11 | 他社の取組みを知り、自社組織の向上をはかる。 | 28 | 参加すること |
| 12 | 会員増強のためのパンフレットの配布と口コミでの勧誘 | 29 | イベント、研修会に参加してもらう。 |
| 13 | 積極的に参加すること。 | 30 | 現状維持 |
| 14 | 活動が楽しく勉強になるということを機会がある時に声かけをする | 31 | アナウンス |
| 15 | できるだけその場に参加できる事 | 32 | 地域全域に渡る会員情報を伝えていただき勧誘できたらと思う。出向かないと理解していただけないのではと感じます。 |
| 16 | 自社の外部発信にも努める事 | 33 | 特になし（17件） |
| 17 | 情報発信を個人でするのではなく、区域のトップとの取組みが重要 | | |

Q12 レディース中央会（女性部）で行うこと

- | | |
|---|--|
| 1 全国大会が各県で行えるよう、サポートしてほしい | 18 メディアを通じてアピールすること |
| 2 女性の働きやすい環境を作り「子育て」「介護」の時でも働ける環境づくり | 19 新規会員の増員 |
| 3 問合せの中継 | 20 会員増員の PR 活動 |
| 4 生活環境改善への取り組み
(ex. 食品ロス問題、子ども食堂支援など) | 21 会社経営の為の情報提供 |
| 5 会員同士のコミュニケーションを深める機会を増やし、お互いに理解し合える場づくりを設けることを心掛ける。 | 22 より多くの参加を促す声かけ |
| 6 ・相互理解を深め、横の連携を強くする。
・女性ならではの感性で事業推進を図る。 | 23 ・ネットワークづくりの推進
・新規会員の増強 |
| 7 レディース中央会をアピールできるような資料の制作 | 24 上記の重点テーマに着手している他県の経営者の会社を紹介、見学会の企画など。 |
| 8 役員が提案した事業の実現に向けての実現。 | 25 研修会の実施です。 |
| 9 団体からの企業への女性参加への強い働きかけ | 26 会員相互の活動について深く知ること。
協議会の価値を高めて、会費を出してでも所属したい会にすること。 |
| 10 若返りと会の活性化を図る企画を考えること | 27 地方を知ることは、自分の現状を認識できるので全国大会を継続してください。 |
| 11 会員交流の場を増やしていく。 | 28 ホームページの強化 |
| 12 会員増強のためのパンフレットを作成し広く募集している | 29 現状維持 |
| 13 PR をして認知度を高める | 30 アナウンス・PR、会員間での候補者の共有 |
| 14 参加したいと思える視察関連事業、研修会の内容に関する会員へのアンケートの実施 | 31 全国に繋がる企業の交流の場、意見交換ができる場であると、良い意味で感じています。 |
| 15 情報提供 | 32 特になし（18件） |
| 16 全国的認知度を上げる事 | |
| 17 レディース中央会だけでなく、あらゆる団体、女性に声掛けすること | |

Q13 親会（中央会等）に期待すること

- | | |
|---|--|
| <p>1 セっかく各県から集まっても、座ったところから移動しないので、会の半ばで、ミックスした席になってほしい。始めての方々を知りたいと思います。</p> <p>2 女性部会への活動費の増額</p> <p>3 企業間のビジネス連携のためのコーディネート</p> <p>4 親会がリーダーシップを発揮し青年部会等も含め連携力の強化、情報共有すること</p> <p>5 親会が何ができるのか理解していませんので回答できず</p> <p>6 女性部と親会との間に考え方の乖離があることを認識していただきたい。事業を実施することのみに追われているように思う。</p> <p>7 ・当会は親会の理解が深く活動支援が手厚い。
・親会、青年部等との協働を増やす。</p> <p>8 会員が興味を抱くような企画をしてほしい</p> <p>9 補助金、支援です！</p> <p>10 雇用してる女性への 研修会などの取組参加理解と実行</p> <p>11 親会や青年部などとの交流事業や気軽に参加できる勉強会を開いて欲しい。</p> <p>12 会社組織で女性役員を増やす取り組み</p> <p>13 会員増強のための勧誘への協力</p> <p>14 軍資金の応援や人脈の紹介など</p> <p>15 新しい情報を取り込めるようにサポートをお願いいたします。</p> <p>16 親会の会議において、レディースの活動も報告して、活動内容、実現でき得たこと等を知って欲しい</p> <p>17 親会にも女性の進出を（主要メンバー全員が男性のように見えるので）</p> | <p>18 レディース中央会の活動内容の情報発信をお願いしたい。</p> <p>19 業種の枠を超えた異業種交流</p> <p>20 中小企業の立場・実情を国に届ける努力
中小企業が発展できるための情報提供を含む国の支援の要請
中小企業が川上の発注者との間にある適正価格要求の難しき等、不公平の是正</p> <p>21 今まで通り</p> <p>22 各団体に女性部を新設する働きかけ等</p> <p>23 ・組合女性部の組織化に向けた支援
・親会を通じた他団体との交流促進
・レディース中央会の情報発信</p> <p>24 他県のレディース中央会や全国中央会との連携強化や情報共有。</p> <p>25 事業推進にあたって、企画・運営面で協力してもらおうこと。</p> <p>26 東京都とかに向けて様々な提案をなさっていることには、感心しています。</p> <p>27 研修会等への参加勧奨。
もっと交流を活発にしたい。</p> <p>28 現状維持</p> <p>29 積極的な女性部加入</p> <p>30 中央会は組合の集合体という意識が強く、個体である1企業にとってはハードルが高いので、組合のない企業にも身近に感じられ入会がしやすくなるよう仕向けていただきたい。中央会が一番県内企業の業況がわかる立ち位置にあると思う。</p> <p>31 特になし（20件）</p> |
|---|--|

Q14 全国中央会に期待すること

- | | | | |
|----|--|----|--|
| 1 | どの県もリーダーを育て、応援して頂きたい。 | 14 | より多くの素敵な女性の交流の場が持てると嬉しいです。 |
| 2 | 時代に合わせた中小企業団体の対応 | 15 | 親身な事業支援 |
| 3 | 企業間のビジネス連携のためのコーディネート | 16 | 外部認知度を上げるサポートをお願いします。 |
| 4 | 全国中央会の存在が遠い所にあるように感じてしまう。連携と結束が必要だと思うし、知名度を高める為に広報活動を充実させて欲しい | 17 | 全国に女性部を増やすこと |
| 5 | 中央会様をちゃんと理解していないので、見間違いかもしれませんが、経営者の年齢も質も変化しています。また社会インフラも変わってきています。一組合員の声を届ける仕組みがあっても良いと思います。また辛口で本当に申しあげにくいのですが、お役所体質からの脱皮をお願いしたいです。 | 18 | 徳島は親会様が積極的ですが、全国各県においてレディース中央会ができることを希望します |
| 6 | 他県の活動状況、研修会、セミナーなど会員に向けて情報を発信してほしい。 | 19 | 組合や中小企業の問題点をきめ細かくサポートしてもらいたい |
| 7 | 全国各都道府県に必ず女性中央会をつくることを、現在女性中央会のない県への強力な後押しをお願いしたい。 | 20 | 中小企業の立場・実情を国に届ける努力
中小企業が発展できるための情報提供を含む国の支援の要請
中小企業が川上の発注者との間にある適正価格要求の難しき等、不公平の是正 |
| 8 | 女性活躍の場を増やしていただくようお願いしたい。
魅力ある企画をお願いしたい | 21 | ご協力頂きたい |
| 9 | もっとPRをお願いします。 | 22 | 都道府県中央会の女性部会設置に向けた支援 |
| 10 | 中央会参画企業へ、女性向上取組参加への理解と出席実行の推進 | 23 | 重点テーマに即した講師の先生の紹介。 |
| 11 | 会員の減少や高齢化は多くの地区が抱える共通の悩みだと思う。会員増強やマンネリ化防止のために新たな取り組みをされているところがあれば情報を共有して頂きたい。 | 24 | 他レディース中央会の活動事例等の動向を発信してもらいたいこと。 |
| 12 | 各府県に女性会が設立されること。(組織の拡大) | 25 | ホームページ、Facebookで活動内容や情報を発信し、常に新しい情報を知りたい。 |
| 13 | 中小企業への強力な支援を多岐に渡り政府に推してもらうこと | 26 | 現状維持 |
| | | 27 | 魅力的な活動 |
| | | 28 | 親会と女性協議会を繋ぎ、全企業の業況と意見を国に発信して欲しい。 |
| | | 29 | 特になし(22件) |

Q15 その他

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1 | 全国のネットワークを活かした情報提供 | 4 | 女性会の存在意義が問われる時代になるのでは、、、。 |
| 2 | 「不易流行」
関わられている皆さんが優秀な方なので、学ぶことがたくさんあり「場」としては継続してほしいですが、ひと昔の様に「場」にこないと情報が入らない時代ではない。 | 5 | レディース理事同士が仲良く(徳島は実現できている)なること。情報交換が出来るよう努めており、個々の職場の問題、地域・家族間の活動等話し合える状況が必要。 |
| 3 | 私が働き始めて48年経ちますが、その時から女性向上は提言されていますが、何も変わっていないのが現状と感
じています
その狭い世間の認識の中で、女性がどんな事ができるのは、まだまだ続く事でしょう | 6 | 特になし(45件) |

事務局向けアンケート結果

24都府県レディース中央会（女性部）及び組合女性部の事務局を対象とし、令和5年10月13日～24日（火）の期間において、Webにて都府県レディース中央会（女性部）及び組合女性部の組織概要並びに事業活動状況等の調査を行ったところ、24件の回答があった。アンケート調査項目及び項目別の回答詳細については下記のとおりである。

事務局向けアンケート原本①

【type-A】事務局向け

令和5年度組合女性部活性化研究会アンケート <レディース中央会・組合女性部 事業活動調査>

令和5年10月

中央会名（所属団体名）

回答者氏名

◆趣 旨

本会では都府県レディース中央会（女性部）の組織及び活動状況等を把握し、下記の4つの立場※における
 ※①会員（所属）企業自身、②レディース中央会（女性部会）、③親会（中央会）、
 ④全国レディース中央会（全国組織）レディース中央会（女性部）の活性化に資する取組事案等を収集することにより、今後のレディース中央会及び組合女性部のあるべき姿を検討するため、アンケート調査を実施することと致しました。

◆アンケート調査対象

A 都府県レディース中央会事務局23県・組合女性部1組合

B 上記会員（企業）等

（事務局経由で配布、配布対象は全会員対象とし、役員（理事・監事）社には基本必須で回答を依頼）

◆アンケート項目（概要）

1. 女性部等の概要について

1 女性部等名称（略称）

（略称）

2 代表者名 ※本調査提出時現在就任の方（所属組合（企業）及び役職）

会 長（ふりがな）

（組合（企業）名： _____、役職： _____）

3 中央会の役職 ※親会の役員等にご就任されている場合は役職名をご記入下さい。

4 設立年月日

平成・令和 年 月 日

5 総会開催月・事業年度

総会開催月： _____ 月、事業年度 _____ 年 _____ 月～ _____ 年 _____ 月

事務局向けアンケート原本②

6 会員数 ※直近通常総会開催日時点

個人会員： 名 (前年度比 増・減)

団体会員： 団体 (前年度比 増・減)

7 会員資格

8 会費徴収基準及び額 (月額)

個人会員： 円

団体会員： 円

9 役員

理事相当職 名、監事 名

【任期】令和 年 月 日～令和 年 月 日

10 補助金 ※該当するものに○印

有 ①中央会 ②県・市等 ③その他

無

11 事業費

令和4年度決算総額 円 (うち親中央会補助額 円)

令和5年度予算総額 円 (うち親中央会補助額 円)

ii. 女性部等における現在の活動状況等について ※以下、自由記述

1 貴レディース中央会 (女性部) の特徴を一言で表すと、何ですか？

2 貴レディース中央会 (女性部) で掲げている実現したい姿、活動目的は何ですか？

3 貴レディース中央会が力を入れている (重要だと考える) 活動内容は何か？

※できていないかどうかについては関係なくご回答下さい。

事務局向けアンケート原本③

4 上記3. の実現状況を教えてください。

●実現（実施）できていること

●実現（実施）できていないこと

<実現（実施）できていないことについて>

阻害要因、障害になっていることは何ですか？

iii. レディース中央会（女性部）が活性化するために必要な事柄について ※以下、自由記述

今後、取り組みたい・強化（欲しい）したいことは何ですか？

1 （※誰が実施するか等、実施者は問いません）

2 上記1. の実現のために必要な要素、欲しい支援は何ですか？

自分・自社ができること

レディース中央会（女性部）で行うこと

親会（中央会等）に期待すること

全国中央会に期待すること

その他

Q1 あなたが所属されているレディース中央会（女性部）の特徴を一言で表すと、何ですか？

- | | |
|--|---|
| 1 協調 | 12 経営者と専門家とタッグを組み、会社経営、事業継続の基本セオリーとリスク管理方策について研究する会 |
| 2 女性の持つ斬新な英知と感性そしてパワーの結集 | 13 本県中央会女性部会は、企業経営にかかわる女性たちの「出会いの場」として、経営に資する交流の機会創出のため、人と人、企業と企業をつなぐ「架け橋」として、様々な活動を行っています。 |
| 3 女性会員間の交流及び資質の向上を図る場 | 14 多様な業種・経営形態の個人会員が所属する多様性のある団体。 |
| 4 各種セミナーや交流会等を通して資質向上や交流を行っています。 | 15 しなやかな連携 |
| 5 金属加工等のハード系の製造業で女性経営者が次代を繋ぎ、新たな価値を創造する。 | 16 会員同士の仲が良く、和気藹々としている |
| 6 本来、中央会の立場から言えば構成員は各組合の女性部だが、個人会員が多いのが実状である。個人会員（女性経営者）が多く、元気である。会に活気がある。 | 17 広域的に異業種で集まり、各地域で特色ある事業を行っている歴史あるレディース。 |
| 7 組合の垣根を超えた交流の場 | 18 電気めっき業を営む女性経営者による部会 |
| 8 大阪を拠点とし、業種や世代を超えて交流する女性部 | 19 特になし（4回答） |
| 9 研修や視察、情報交換等を通じて自分磨きができる『自己研鑽の場』 | 20 無回答（2回答） |
| 10 異業種交流・研究会の場 | |
| 11 女性経営者のつながり | |

Q2 あなたが所属されているレディース中央会（女性部）で掲げている実現したい姿、活動目的は何ですか？

- | | |
|---|--|
| 1 会員相互のビジネスチャンス拡大のための情報交換・意見交換 | 11 中小企業問題に関する研鑽、情報交換及び会員の親睦を密にし、もって女性の経営者意識を高めていくとともに、併せて中小企業組合活動にその英知と感性そしてパワーを注入していくことを目的としている。 |
| 2 部会員同士の相互連携、女性経営者独自の視点や助言による全鍍連の充実と活性化 | 12 女性の斬新な英知と感性、活力を生かした新産業の創出と経営意識の高揚、次代を担う女性経営者の育成を図り、会員の資質向上に寄与すること |
| 3 本会は、男女共同参画社会の実現が21世紀における我が国社会の最重要課題の一つであることに鑑み、県下の女性経営者等が手を携え、女性の持つ斬新な英知と感性そしてパワーを結集するとともに、相互の自己研鑽を図り、広域的連携と交流促進を通じて地域社会及び中小企業の振興発展に寄与する。 | 13 経営者としての資質向上と経営センスを磨く交流の場づくり、相互にサポートし合う交流の場づくりを推進 |
| 4 地域・業種を越えたネットワークづくり。仲間で知恵を出し合い経営課題の解決及び女性の活躍推進。 | 14 会員に役立つ事業をスピード感と柔軟性をもって積極的に展開し、新たな情報提供や連携によりビジネスチャンスの拡大を図っていくと同時に中央会女性部会の活動を広く周知し、中小企業組合及び中小企業経営に資する「女性の力」をさらに向上させるための取り組みを行います。 |
| 5 交流 | 15 企業経営や組合活動に携わる女性を支援し、女性の斬新な英知と感性を活かした交流・連携の促進、経営革新、自己研鑽、新産業創出を図り、地域社会・経済の発展に寄与することを目的とする。（会則より抜粋） |
| 6 性別年齢を問わず活躍できる環境の整備、中小企業団体の振興発展に寄与すること | 16 個人では解決できない課題に取り組み、情報の提供・収集と相互の交流を行うネットワークを構築することにより、女性経営者等の支援を行い、本県中小企業等の振興発展に寄与することを目的とする。 |
| 7 目的：企業経営や組合活動に携わる女性の交流と連携を促進し、女性の斬新な英知と感性を活かした経営革新、自己研鑽、新しい産業の創出を図り、もって地域社会・本県経済の発展に寄与すること | 17 会員相互の交流による知識の研鑽と社会的地位の向上 |
| 8 女性の斬新な発想や感性を活かした活動により、幅広い交流、会員の資質の向上を図ること。 | 18 徳島県内の中小企業組合の女性役職員、中小企業組合に所属する企業の女性役職員等をもって構成し、女性特有の感性や英知を結集して女性の新たな活躍を推進する |
| 9 各種研修会や視察研修などにより、会員の資質向上を図り、女性の社会的地位の向上につなげることを目的とする。 | |
| 10 千葉県産業の振興と女性の経済的地位の向上 | |

と共に業界の振興発展に寄与することを目的とする。

- 19 女性経営者、経営に関わる女性及び組合事務局女性職員等が、中小企業問題に関する研鑽、情報交換及び会員の親睦を密にし、もって女性の経営意識を高めていくとともに、併せて中小企業組合活動にその英知とパワーを注入していくことを目的とする
- 20 中小企業組合（以下「組合」という。）に所属する女性経営者又は組合女性役員が、資質向上を図り特有の感性や英知を結集して、組合における新たな活躍を推進するとともに、業界の振興発展に寄与することを目的とする
- 21 中小企業に係わる女性の国・県等の施策・中小企業情勢に関する理解を深め、女性の英知と活力を中小企業に

導入し、その振興発展に寄与することを目的としている。

【本会会則より抜粋】

- 22 中央会の支持組織として、中小企業問題について研鑽を積み、会員の親睦と情報交換を密にし、以て女性の経営意識を高め、併せて組合及び企業経営の近代化に資すること
- 23 参画メンバーが一致団結し、相互に協力しあえる女性経営者ネットワークを構築
- 24 女性の経営意識の向上、中小企業の振興・発展に寄与すること

Q3 あなたが所属されているレディース中央会が力を入れている（重要だと考える）活動内容は何か？

- 1 会員相互の情報交換・意見交換の場を増やし、友好を深め、ビジネスチャンスを拡大する
- 2 研修会や基調講演会・意見交換会などによる部会員同士の交流と情報交換
- 3 情報交換、意見交換
- 4 女性活躍推進に向けての事業
会員間の交流事業
SDGs、DX、GXなど未来に向けての取組み及び研修会
行政との交流による意見交換
- 5 事業経営に役立つ研修会・情報交換会の開催
女性部会の活動に関する情報発信
女性部会及び会員企業をPRするイベント事業
- 6 三重県知事との懇談会
三重県議会との懇談会
三重県の子どもの貧困対策への協力として「みえ子育てW
AON」の普及及び推進
交流促進に関する事業
- 7 交流
- 8 会員間の交流を図ること
- 9 会員（女性）がビジネスを行っていく、また、人生を豊かにする上で、必要な知識・素養を習得すること。また、活動の中で会員同士が交流を図ること。
- 10 会員の資質向上と会員相互の交流
- 11 新たな知見・情報を得るための活動
次世代を担うリーダーを支援する活動
会員間の交流
- 12 会員間の交流

- 13 できたばかりの組織なので、まずは参加しやすい体制づくりと会員同士の交流に力を入れている。
- 14 視察事業
新企画事業
中小企業レディース研修会（講演会）
上記事業に参画することでの会員間の交流等
他県レディースとの交流
会員促進
- 15 会員の連携・交流に関する事業
- 16 他団体との交流、連携、会員増強
- 17 女性経営者の望む時代に即した勉強会
視察研修の提供
女性経営者同士の交流の場
受託団体として事務処理代行
- 18 地域・業種を越えたネットワークづくり。
- 19 次代を担う女性経営者の育成に資する事業の実施
会員の増強
- 20 企業経営課題に関する研修会の実施
- 21 講習会及び懇親会
- 22 各種セミナーや交流会等の事業実施による女性の資質向上や経営力向上、会員相互の交流
- 23 女性同士で情報共有し、相互の解決策を補完しあえる体制づくり
見識を高めるため自己研鑽に努める（女性経営塾参加、相互活動情報発信、相互視察等）
他機関との連携
- 24 SDGs

Q4 Q6の実現状況を教えてください。実現（実施）できていること

- | | | |
|----|---|---|
| 1 | 交流（2回答） | 宮崎県商工3団体女性部会（宮崎県商工会議所女性会連合会・宮崎県商工会女性部連合会・宮崎県レディース中央会）での研修会およびボランティア活動（令和4年度～） |
| 2 | 会員間の交流 | |
| 3 | 情報交換・意見交換 | |
| 4 | 昼食会など交流の場の創出 | |
| 5 | 会員間の交流を図ること | |
| 6 | 女性の資質向上や経営力向上、会員相互の交流 | |
| 7 | 新たな知見・情報を得るための活動
会員間の交流 | |
| 8 | 年に2回、セミナーと交流会を開催しており、会員相互で交流を図る機会を設けている。 | |
| 9 | 年度行事による研修会（工場見学会）、基調講演会、Zoomを活用した意見交換会 | |
| 10 | 情報交換、意見交換 | |
| 11 | 研修会を年4回実施 | |
| 12 | 三重県知事との懇談会
三重県議会との懇談会
三重県の子どもの貧困対策への協力として「みえ子育てWAON」の普及及び推進
交流促進に関する事業 | |
| 14 | しなや華塾（研修会）実施年2回
委員会（研修・交流・広報）での情報共有や連携 | |
| 15 | 教育情報事業（知識・素養の習得）：スプリングセミナーや新春セミナーにおいて、文化的・経済的テーマでセミナーを実施するほか、文化施設の見学会、中央会等が主催の教育事業を情報提供。
交流事業：暑気払いや忘年会など交流懇親会の開催、ゴルフ同好会。 | |
| 16 | 研修会（年2回）および視察研修（年1回）の実施
全国レディースフォーラムへの積極的な参加協力 | |
| 17 | 女性経営者の望む時代に即した勉強会・視察研修の提供 | |
| 18 | 次代を担う女性経営者の育成に資する事業の実施
⇒女性経営者等支援セミナーの実施（※令和5年実績6/16開催『見た目のイメージアップで組織内コミュニケーションが変わる』株式会社イメージアップラボ 代表取締役 長尾 なお子氏） | |
| 19 | 事業経営に役立つ研修会・情報交換会の開催
⇒専門家や女性部会会員を講師とした女性経営者セミナー
⇒親睦交流会（忘年会・新年会）
女性部会の活動に関する情報発信
⇒中央会機関誌（中小企業組合NAVI）及び中央会ホームページ等を通じて、情報を発信している
女性部会及び会員企業をPRするイベント事業
⇒一般参加することのできるマルシェなどのイベント情報を得た際には、会員企業の取り組みやサービス、商品を見て知ってもらい、販路拡大につなげていくことを目的に、会員の中より参加希望者を募り、女性部会として参加する。 | |
| 20 | SDGs先進事業者への視察 | |
| 21 | ①～④事業すべて毎年各地域の役員・会員が中心となって実現できている。
⑤他県レディースとの交流は、令和元年度より継続して交流しているとくしまレディース中央会との事業や全国フォーラムへの参加で実現できている。 | |
| 22 | 上記の①～③は概ね実現している | |
| 23 | 微力ではあるが、徐々に実現出来ている | |

Q5 実現（実施）できていないこと

- | | | |
|----|--|---|
| 1 | 会員増強（3回答） | 会員促進に力を入れていただいている役員・会員もあるが、地域によって偏りがあるのが現状。 |
| 2 | より一層の交流、会員増加 | |
| 3 | 教育事業における新しいテーマや企画内容の検討。
交流事業：新しいメンバーとの交流による加入促進。
情報化：役員・事務局の連絡は、LINEやZOOMを活用することで効率化が進んだが、HPなど更なる情報化推進が課題。 | |
| 4 | 研修事業（MOCOフォーラム）では、女性中央会未加入の方にも参加を呼び掛けているが、交流会まで参加される方は少なく、新たなネットワークづくりにつながっていない。 | |
| 5 | まだ回数を重ねられていないため、深い交流にはつながっていない。 | |
| 6 | ⑥会員促進は各会員も悩んでいる点で会員数も横ばい。 | |
| 7 | 会員の女性活躍に向けた事例紹介、さらなる交流の場の創出 | |
| 8 | 創立5年となり、今後の活動としての会メンバーの方向性、組織拡大に向けた戦略など | |
| 9 | 次世代を担うリーダーを支援する活動 | |
| 10 | 女性経営者同士の交流の場の提供 | |
| 11 | 企業間コラボによる新ビジネス、新事業創造 | |
| 12 | 特になし（8回答） | |
| 13 | 無回答 | |

Q6 <実現（実施）できていないことについて>阻害要因、障害になっていることは何ですか？

- | | |
|--|---|
| <p>1 認知度</p> <p>2 会の認知度の問題
会員組合の女性部の減少</p> <p>3 中央会の存在意義や支援内容の周知が不十分</p> <p>4 事業企画に新しいメンバーの考え方を取り入れることが必要。今年の総会で役員に新しいメンバー（既存会員）が加わったことで、今後の企画など事業に良い効果が期待できると思われる。委員会制度を活用して、役員以外のメンバーの参画を図ることも必要。
情報化：情報機器に不慣れな会員もいるため、情報伝達手段が限られる。</p> <p>5 総会後の交流会など実施自体は行っているが、本年度は参加者が少なく、活性化がうまくいっていないのが原因と思われる</p> <p>6 広報活動が十分にできていない。
具体的な加入メリットを提示できていない。</p> <p>7 次世代リーダーとコンタクトをとることや本会事業へ参加勧奨することが難しい</p> | <p>8 まだ発足から2年目なので、手探りで進めている状況であるため、時間が必要。業種や所属の法人形態、役職等が分かれているため、共通テーマを見つけるのが難しい。</p> <p>9 女性経営者が単組の役員になっていない等の理由から、中央会職員が組合事務局に巡回に行くだけでは、なかなか加入勧奨が難しい</p> <p>10 本会会員・役員の中には商工会議所等その他の団体やレディースにも入会していたり役を持っていたりする方が多く、女性ならではの理由（子育て・介護等）で頻繁な事業参画は難しい現状がある。</p> <p>11 創立5年と歴史が浅く、発展途上の団体であるため事業メニューは拡大しているが、今後の方向性や課題について協議する時間が必要。</p> <p>12 一部の会員しか女性部の活動を把握しきれていない。参加する人が毎回同じな傾向が強い。</p> <p>13 特になし（7回答）</p> <p>14 無回答（5回答）</p> |
|--|---|

Q7 今後、取り組みたい・強化（欲しい）したいことは何ですか？ （※誰が実施するか等、実施者は問いません）

- | | |
|---|--|
| <p>1 会員拡大</p> <p>2 会員増強（2回答）</p> <p>3 会員増加（2回答）</p> <p>4 高齢化に伴う会員数減少が課題であるため、会員増強を行う。</p> <p>5 会員促進。（※会員数の増減がほぼ横ばい、もしくは減少傾向であるため）</p> <p>6 会員の増強。活動継続のためには、特に若年層の会員を増やしていく必要がある。</p> <p>7 女性部の募集チラシを作成し、会員の増員につなげる</p> <p>8 会員間の繋がり強化
各組合に女性部及び女性理事長が誕生すること
事業のコラボレーション</p> <p>9 教育情報事業の充実
交流事業の充実
情報化（情報発信）促進
加入促進</p> <p>10 さらなる会員ネットワークの充実、強化
新規会員の加入促進</p> <p>11 今後も引き続き、会員相互の親睦と連携を密とし、自己研鑽と情報交換等を行い、広域的連携と交流促進を通じて地域社会及び中小企業の振興発展に努める。
会員の加入促進に努める。</p> | <p>12 会員のPR活動
加入者の増進</p> <p>13 他県および他団体の女性部との交流（全国フォーラムを除く）</p> <p>14 新たな知見・情報を得るための活動
次世代を担うリーダーを支援する活動
会員間の交流</p> <p>15 男女共同参画事業推進</p> <p>16 女性部とか青年部とかのククリをなくしジェンダーフリーなオール中央会組織を作り社会を活性化する</p> <p>17 青年部との連携強化</p> <p>18 会員による勉強会を開催し、相互に学びあうこと。
協議会で独立して、活動ができるようになること。（今は、中央会の100%補助で活動）</p> <p>19 将来ビジョン整理
新規事業提案
会員拡大</p> <p>20 新規女性部の設立</p> <p>21 無回答（2回答）</p> |
|---|--|

Q8 Q10の実現のために必要な要素、欲しい支援は何ですか？ 自分・自社ができること

- | | |
|--|--|
| 1 交流促進 | 12 情報化については、事務局の持つスキル、中央会の持つ専門家のネットワークを活用して役員と検討する。 |
| 2 交流会の企画 | 13 中央会内の組合への女性部会員へ勧奨すること |
| 3 会員間の繋がり強化のために、交流の機会をつくる。 | 14 中央会を通じてPR |
| 4 加入のメリットの強化（情報発信、スキルアップ、ネットワークの拡大等） | 15 広報活動の実施
魅力的な事業企画の立案 |
| 5 ジェンダーフリーに向けていろいろな場で声を上げていく | 16 会員が「是非参加したい!話を聴いてみたい!知り合いの経営者も誘ってみよう!」と思える、女性部会ならではの研修会・講習会の開催。 |
| 6 加入勧奨に努める | 17 活動の輪を拡大し、女性活躍推進ロールモデルについての勉強会の実施等 |
| 7 女性部設立のニーズ発掘、設立推進 | 18 関係機関との連携・調整及び事業メニューの提案（たたき台づくり） |
| 8 レディース中央会の魅力を会員間に伝え周知・認識していただくこと。 | 19 特になし（2回答） |
| 9 SNSを活用した情報発信 | 20 無回答（4回答） |
| 10 宮崎県レディース中央会の活動などの情報発信の強化
魅力ある研修会を実施するための情報収集 | |
| 11 情報収集を行うことで、他の盛んな中央会の運営方法を学ぶこと | |

Q9 レディース中央会（女性部）で行うこと

- | | |
|---|--|
| 1 交流促進 | 13 会員のPR活動（会員紹介ページなどの作成） |
| 2 交流会の企画 | 14 中央会への働きかけ |
| 3 会員の加入促進に努める | 15 広報活動への支出、予算計上
会員が加入メリットを感じられるような事業の開催 |
| 4 レディース中央会の魅力を会員間に伝え周知・認識していただいた上で、会員促進（勧誘）に役立てていただくこと。 | 16 各種事業の企画立案
他の女性経営者団体や女性起業家支援団体との交流 |
| 5 セミナーの開催等を通じて女性部会の活動を県内組合関係者等に知ってもらうとともに、会員が知人等に声掛けをするなど加入促進を図る。 | 17 会員が「是非参加したい!話を聴いてみたい!知り合いの経営者も誘ってみよう!」と思える、女性部会ならではの研修会・講習会の開催。 |
| 6 教育情報事業、交流事業について、参画できるメンバーを増やして取り組み、内容充実を図る。
役員を中心に、情報発信および加入促進を図る。 | 18 会員相互の活動について深く知ること。
協議会の価値を高めて、会費を出してでも所属したい会にすること。 |
| 7 会員増強と会員の若返り | 19 活動の輪を拡大し、女性活躍推進ロールモデルについての勉強会の実施等 |
| 8 役員を中心とした会員拡大の取り組み | 20 魅力あるテーマの講習会開催 |
| 9 女性部の募集チラシの作成 | 21 将来ビジョンのイメージ化と会員拡大に向けたコンセプト統一 |
| 10 会員の活動状況の共有 | 22 特になし |
| 11 相互理解を深め、横の連携を強くする。 | 23 無回答（2回答） |
| 12 業種や地域の枠を越えたネットワークづくり
宮崎県レディース中央会の活動などの情報発信
宮崎県レディース中央会活動の啓発、普及 | |

Q10 親会（中央会等）に期待すること

- | | |
|--|--|
| 1 助成金の増額 | 12 セミナーの開催や情報誌掲載等を通して女性部会の活動を周知してもらう。 |
| 2 補助金 | 13 女性中央会が活動する上で、関係機関（行政、関連団体、マスコミ等）への情報発信のほか、新規事業構築における受託、補助事業の提案など。 |
| 3 活動費の補助 | 14 女性部設立に向けた連携（情報共有、事業活用など） |
| 4 活動費の支援
親会会員に対するレディースへの加入促進活動への協力 | 15 組合女性部の組織化に向けた支援 |
| 5 交流会の企画 | 16 団体会員促進、レディース中央会運営に役立つような情報提供、イベントの企画 |
| 6 会員増強への支援 | 17 親会の事業を活用しての事業運営の継続。
（※当県では連携組織活性化サポート事業を活用して鳥取女性中央会 |
| 7 当会は親会の理解が深く活動支援が手厚い。 | 18 特になし（3回答） |
| 8 事業推進にあたって、企画・運営面で協力してもらうこと。 | 19 無回答（4回答） |
| 9 組織改革を目指し、理事・役員に女性会員・青年部会員を増やし、時代に合った会にする | |
| 10 役員所属組合における女性部、女性役職員等の方々の女性中央会への加入及び事業への参加。 | |
| 11 女性部活動に対する助成（現在も有り。）
セミナーや各種相談会事業の実施（現在も有り。女性部会員は利用できない。） | |

Q11 全国中央会に期待すること

- | | |
|--|---|
| 1 組織改革を目指し、理事・役員に女性会員・青年部会員を増やし、時代に合った会にする | 11 他県の中央会女性部会の取り組み内容（経営者セミナーの講師やどんな専門家を活用したか等）を知りたいです。 |
| 2 都道府県中央会の女性部設置に向けた支援 | 12 他県女性部の活動事例の紹介 |
| 3 今後のレディース中央会の役割やビジョンの明確化 | 13 他レディース中央会の活動事例等の動向を発信してもらうこと。 |
| 4 レディース会の PR、他団体との連携協定 | 14 交流会の企画 |
| 5 県外女性部との交流会開催の際の補助金及び助成金の支給
他県の女性部の取り組み事例、組合員等の紹介 | 15 フォーラム以外でセミナーや研修事業を実施してほしい。
都道府県中央会だけでは実施が難しいような著名な講師のセミナーなどがあれば、会員に加入メリットとしてアピールすることができる。 |
| 6 事務局のブロック会議（中国ブロック or 中国・四国ブロック）の開催
全国レディース中央会への活動支援
（各レディース会は会費収入が脆弱＝役員旅費補助等があればありがたい） | 16 情報提供（講師の紹介、施策の案内等） |
| 7 中央会女性部組織の全都道府県設置。全国レディース中央会を中心とした中央会女性部、組合女性部の存在意義を見出せるような活動。 | 17 全国フォーラム以外でも県外レディース会員との繋がりやビジネスに繋がるような場所があると良いと感じる。
（※全国レディース中央会主導の SNS の開設等：必ず各県の事務局を通さなくても個人的な交流やビジネス的な話が出来るといい） |
| 8 全国各都道府県に必ず女性中央会をつくることを、現在女性中央会のない県への強力な後押しをお願いしたい。 | 18 特になし（4回答） |
| 9 地域を超えた女性部の交流促進
教育・交流事業への支援
（情報提供など） | 19 無回答（2回答） |
| 10 情報提供
女性経営者が女性部に求めるものとはどういうものか
女性部運営における事務局の心得、運営手法などの講演会開催など | |

Q12 その他

- | | |
|---|--|
| <p>1 ※会費については本会（鳥取女性中央会）は年会費制。
（年会費：5,000円、※後期入会者は2,500円）</p> <hr/> <p>2 会費の額は年額で入力。</p> <hr/> <p>3 設問 i-8 会費徴収基準及び額（月額）については、年額の金額を記載しています。</p> <hr/> <p>4 本会は正会員16人（会費5万円）のほか、サポート会員5人（会費3万円）で構成している。
事業メニューの中で経営塾等は補助事業を有効活用している。
※今年度の予算は全国フォーラム開催経費を含めていません。</p> <hr/> | <p>5 グループ会員：10,000円を徴収している。</p> <hr/> <p>6 令和4年度決算総額は「収入」の額を入力させていただきました。
回答するのが難しいと感じた項目は、無回答とさせていただきます。申し訳ありません。</p> <hr/> <p>7 人手不足対策、担い手対策の受け皿として女性部の活用促進
特になし（5回答）</p> <hr/> <p>8 無回答（12回答）</p> <hr/> |
|---|--|

女性部会のさらなる活性化に向けて



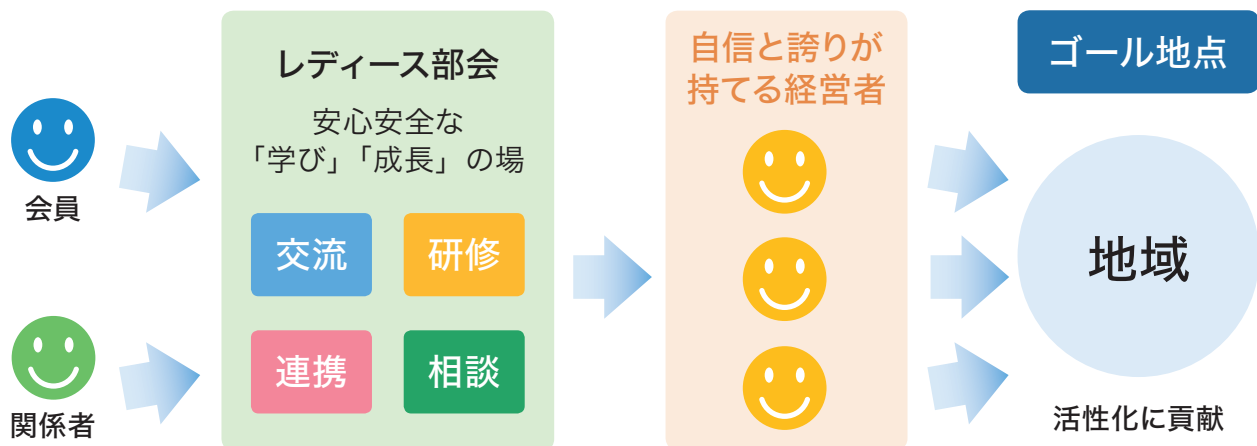
株式会社リクルート Division 統括本部 HR 本部
ジョブズリサーチセンター長 宇佐川 邦子

今回のアンケートやインタビュー、研究会での意見交換を経て、女性部会の更なる活性化のための要素3つが発見できた。

- ①「核（軸）」となるものの言語化（言葉を磨き、共通言語化する）
- ②協働と役割分担（共助を活かす、協創する）
- ③連携と広がり（繋げる、広げる）

2024年7月より実施したアンケートやヒアリング等で、全国の女性経営者、事務局の方々から多種多様な意見・展望が寄せられたが、紐解いてみればその方向性は概ね共通していた。「女性部会の活動」を通して、「自信と誇りを持った経営者の育成」を行い、それが結果的に「地域への貢献」になる、という明確なゴール地点のビジョンだ。

女性ならではの視点と経営者としての視点、関わり方、それを掛け合わせられることを「強み」として、地域に貢献していく。女性部会に所属する経営者には、存在価値やこだわりを持つ方が多く、自身が地域貢献の「因」となる志が高い傾向にあると感じた。



そして、地域に貢献するためには「まずは自分自身が成長をしなくてはならない」という強い思い、そのために「新しい視点や考え方を積極的に取り入れていく」ことが重要との認識を持つ方も多くみられた。他にも自身のみならず、他会員の成長をどのように促すかの観点で問題提起しており、共通課題として「新規会員（特に若手）を増やす」ことが挙げられていた。

聞き取りで見てきた女性部会の魅力は、「安心安全な学び・成長の場」たるところであった。ここで言う「安心安全」とは、「失敗をさらけ出し、深い学びに繋がられる」ことを意味している。失敗を気にせずにチャレンジができ、失敗したとしても学びに繋がられる「安心」。不安や迷いについても、リスクを負わずにアドバイスをもらえる「安全」。経営者にとっては、こうした「安心安全」の場は極めて貴重なものだろう。

このような学びの中での成長、女性部会の場で生まれた成果を、いかにして外に広げていけるか。それをより効果的に実現するためにも、前述した3つの要素を意識して、取り組むことが重要と考える。

①核（軸）となるものの言語化（言葉を磨き、共有言語化する）

何よりもまず大切になるのが、各女性部会における存在価値の言語化だ。

地域性や産業の違い、経営者の属性の違い等の会員構成なども影響していると思うが、地域によって、女性部会内でも経営者によって温度差が生じているとのコメントもあった。それぞれの会で、何を大切に、目指すのか。また、どのような個性が存在しているか、強みは何か等、各会で自らのアイデンティティを言語化し、核となるべき「価値」を改めて見つめ直すことが重要となってくる。

各会のビジョン、ミッション、軸となるもの、こだわり。漠然とした概念を言語化する過程で、明確になる課題や、気づくこともあるだろう。「言葉を磨く」とは、改めて自分達を目指すべきゴールや存在価値と向き合い、考えを深め、決断するためのプロセスである。各会でイメージブックや3カ年のアクションプランといったものを作ってみるのも、具体策として有効だ。活動計画に組み込むことをお勧めしたい。

また、言語化をすることで、各会の魅力も見えやすくなっていく。今回のヒアリングを通して、今後、新規の若手会員を増やすことや、青年部等の他組織・団体との連携強化を重視する声が多く聞かれた。女性部会がどのような場であるか、目指しているかを明確にし、魅力や存在価値をわかりやすく説明できるようになることは、会員・協働者増にも効果的なことだろう。議論プロセスをとって相互理解を進め、言語化することにより、周囲も含めた協働者増を実現しよう。

②役割分担と協働（共助を活かす、協創）

いくら志や学び、成長意欲が高いとしても一人の経営者、1社で実現できることには限界がある。そこで、女性部会に集まる多種多様な経営者、企業との相互扶助、連携による相乗効果をあげることを狙いたい。無理して1社完結に拘らず、明確にした存在価値・目指したいことなどを軸に各自・各社の強みを持ち寄り、弱点を補う役割分担をすることで、全体でやりたいこと／やるべきことを実現すればよい。誰が何をどのように担うかを調整し、状況に応じて適宜見直すことが好ましい。

また、各会でやるべきこと・進めた方がよいものがあれば、新規事業やサービス創出、次世代リーダー向け基礎研修など、全国横断での実行体制を組む方が効果的なケースもあるだろう。「共助」の理念が根本に存在する組合部会だからこそ、こうした連携が生きる側面は多いはずだ。役割分担と協働を意識づけることで、「思考が自

社に閉じない」ようにする狙いもある。成長の場である女性部会を通して得る繋がりや協働の意識は、後述する③の要素にも自然と影響を与えることだろう。

③連携と広がり（繋げる、広げる）

多くの女性経営者が「狙いたいゴール」として目標定義していたのが、「地域への貢献」だ。この目標であれば、個々の会員や女性部会でも一定程度は実行できるが、より良い成果をあげるためにも、「一緒に取り組む仲間を増やす」「次世代にもつなぐ」といった2つの連携を意識してほしい。

まずは、女性部会場で得た学びや知識・経験を自分から自社従業員へ、従業員から取引先の従業員へ、取引先の従業員から所属企業の他従業員へ、そしてやがては地域全体に。学びを繋げ、広げていくことが、結果的には地域の活性化という目指すべき姿に追いついていくだろう。

また、中央会の青年部や地域の団体・学校・行政など、様々な立場の方々と連携してほしい。多様な視点や強みを得ることができ、難しい地域課題の解決につながる取組や、より広い範囲に普及することが可能となるのではないだろうか。他地域で同じ課題を抱える複数の女性部会との協働することでも、より早く効果的な施策を講じられる可能性が高まると想定できる。

「地域への貢献」は、経済的な貢献のみならず、「この地域に生まれて良かった」と言える自信と誇りに満ちた経営者に自らがなり、同じ発言ができる従業員や地域の子供を増やすことを最終ゴールとして目指している。合わせて、地域に根差す家庭人／女性としての自らの経験を活かし、地域社会とのつながりを深めることで実現できるとの意見も挙げられていた。

ここまで女性部会活性化のために、重要な要素を述べてきた。

「自信と誇りを持った経営者」、そして「地域貢献」という目指すゴールまでの道のりは不透明で課題もあるであろう。しかしながら、各会それぞれが自らの存在価値やゴールを言語化し、役割分担をしながら共に学び、実行する姿を周囲に伝えることで、協働者が増加する。結果、ゴール達成につながる。

今回のヒアリングで自会の課題等を言語化したことで、新たな気づきを得たと話す人もいた。まずは、足元から。軸を固める各会の存在価値、目指したいゴールの議論から始めてみてはいかがか。

2

組合女性部活性化研究会 実施報告

組合女性部活性化研究会実施報告

第1回

- 期 日 令和5年7月20日（木）13：30～14：30
- 場 所 全国中小企業団体中央会701研修室
（東京都中央区新川1-26-19）
または Web システム（zoom）
- 協議事項 (1) 事業概要、スケジュール等実施要領について
(2) 組合女性部等活動状況実態調査の実施（実施方法、ヒアリング調査候補先の選定）について
(3) 女性経営者における活動（活躍）事例について
(4) その他

第2回

- 期 日 令和5年11月1日（水）11：00～12：30
- 場 所 ホテルグランヴィア岡山 3階 パールの間
（岡山県岡山市北区駅元町1-5）
または Web 会議システム（teams）
- 協議事項 (1) レディース中央会活動状況等調査結果報告
（アンケート調査結果報告）
(2) 組合女性部の活性化の方向性についての意見交換
(3) その他

第3回

- 期 日 令和6年1月24日（水）13：30～17：00
- 場 所 全国中小企業団体中央会601研修室
（東京都中央区新川1-26-19）
または Web システム（teams）
- 協議事項 (1) 成果報告書案について
(2) 組合女性部等活性化に向けた今後の方向性について
(3) その他

レディース中央会2023全国フォーラムin岡山 開催報告

<基調講演>

テーマ：「過去の歴史と未来の希望の接点としての現在」

講師：公益財団法人大原美術館代表理事 大原 あかね 氏

概要：講師の大原あかね氏は公益財団法人大原美術館の代表理事を務める。また、講師の曾祖父の大原孫三郎氏は大原美術館の設立者である。前半部分は大原孫三郎氏の事業理念と大原家が代々繋いできた地域を支える社会貢献事業についての講演が行われた。後半部分は美術館代表理事を務める講師の視点から、人々とアートをつなぐにはどのような方法があるのか、また、その活動を進めるにあたってはどのような応援態勢が必要なのかなど今後の展望について、大原美術館における取組事例を基に講演がなされた。



<講演+パネルディスカッション>

●講演

テーマ：「町工場の娘～主婦から社長になった2代目の10年～女性のモチベーションに繋がる仕事論～」

講師：ダイヤ精機株式会社 代表取締役 諏訪 貴子 氏

概要：講師であるダイヤ精機株式会社代表取締役諏訪氏は2004年、先代の急逝により社長に就任した。社長就任後、社内の人材改革、生産システム改革を進め、大きな成果を残してきた。前半部分は、会社経営を通じて学んだリーダーの役割について諏訪氏自身の経験談を交えつつ、どのように企業改革を成し遂げたのかに関する講演がなされた。後半部分は、経営者が抱える経営者特有の孤独について、また、その不安感を諏訪氏がどのように考え方を変え、自身の成長につなげていったのかについて講演がなされた。



●パネルディスカッション

テーマ：岡山県ものづくり女性中央会の取組～会員から地域へ、次世代へ～

コーディネーター：株式会社リクルートジョブズリサーチセンター長 宇佐川 邦子 氏

パネリスト：株式会社フジワラテクノアート代表取締役副社長 藤原 加奈 氏

倉敷ボーリング機工株式会社代表取締役社長 佐古 さや香 氏

金田コーポレーション株式会社代表取締役 畑島 美緒 氏

オサカダツール株式会社代表取締役 牧 明奈 氏



概要：コーディネーターの宇佐川氏の進行のもと、4名のパネリストの紹介がなされ、岡山県ものづくり女性中央会の活動が紹介された。岡山県ものづくり女性中央会は創立5周年を迎えるが、その間に会員間の交流、研修を行い、研鑽をはかっている。例えば、会員企業の工場を互に見学し、率直な意見を交わすことで、日々の生産性向上に活かしている。また、都合が良い部品が見つからない場合、会員企業のLINEグループを通して部品の情報を融通し合うなど会員企業の経営に良い影響を与え合っているといったディスカッションが行われた。

本フォーラム終了後には、18時より岡山県中央会主催の交流懇親会が開催された。

オープニングパフォーマンスとして、IPU・環太平洋大学ダンス部のダンスが披露された後、岡山県中央会の晝田会長、岡山県ものづくり女性中央会の藤原会長による歓迎挨拶が行われた。続いて来賓として、岡山市長の大森雅夫氏、岡山県産業労働部長の宮本由佳氏、元内閣総理大臣補佐官の長谷川榮一氏による祝辞が述べられ、一般社団法人ものづくりなでしこ代表理事の渡邊弘子氏より乾杯のご発声をいただいた。

歓談中は、岡山県ものづくり女性中央会によるものづくり女性中央会のPR動画が放映された後、地元演奏グループ「あちゃらけ」によるコンサートとダンスグループ「ブレイキン」によるダンスのコラボステージが披露された。続いて令和6年度全国フォーラムは、11月7日（木）に鹿児島県鹿児島市にて開催されることが発表され、鹿児島県中小企業団体中央会女性部会より次期開催県のPR動画放映と挨拶が行われた。最後に、岡山県ものづくり女性中央会の藤原会長より挨拶が行われた後、あちゃらけによる演奏が披露された。

以上をもって、岡山県ものづくり女性中央会副会長の佐古さや香氏による中締めで20時に盛会の内に終了した。



主催者挨拶
森洋・全国中小企業団体中央会会長



主催者挨拶
吉田陽子・全国レディーズ中央会会長



来賓挨拶
實國慎一・中国経済産業局長



ビデオメッセージ
伊原木隆太・岡山県知事

2 組合女性部活性化研究会実施報告



基調講演
大原講師・公益財団法人大原美術館代表理事



講演
諏訪講師・ダイヤ精機株式会社代表取締役



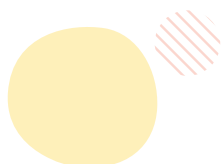
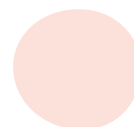
パネリスト／左から 藤原 加奈 氏、佐古 さや香 氏、畑島 美緒 氏、牧 明奈 氏



パネルディスカッション

交流 懇親会





▼パンフレット

交流懇親会 18時00分～20時00分(4階 フェニックスの間)

1 歓迎アトラクション IPU・環太平洋大学 ダンス部	4 来賓紹介・祝辞
2 開会	5 アトラクション 「あちやっけ」による演奏会
3 歓迎挨拶 岡山県中小企業団体中央会会長 重田 真二 岡山県ものづくり女性中央会会長 藤原 加奈	6 次期開催地紹介 徳島県
	7 閉会

展示物産販売 16時50分～18時00分(さんすて岡山・JR岡山駅直結)

『さんすて岡山お買い物ツアー』
お土産・スイーツ・ファッション・服飾雑貨・生活雑貨などが揃ったJR岡山駅直結の商業施設です。ツアーコンダクターのご案内いたしますので是非お立ち寄りください。

会場のご案内
ホテルグランヴィア岡山
〒700-8515 岡山県岡山市北区駅前1番5
TEL: 086-234-7000
HP: <https://www.granvia-oka.co.jp/>



■ 岡山駅から
徒歩約3分(駅直結)

■ 岡山桃太郎空港から
【タクシー利用】タクシー乗り場から約30分
【バス利用】岡山駅方面行き2番乗り場から乗車、
終点岡山駅下車(約30分)、徒歩5分

お問い合わせ 全国中小企業団体中央会 振興部(女性部担当) TEL: 03-3523-4905
岡山県ものづくり女性中央会 <https://mondokuriyosetyouokai.my.canva.site/>

2023 Ladies Chuokai National Forum
in OKAYAMA

レディース中央会 2023 全国フォーラム in 岡山

令和5年 **11月1日(水)** 13時30分～16時50分
(交流懇親会:18時00分～20時00分)

開催場所 **ホテルグランヴィア岡山(4階 フェニックスの間)**
岡山県岡山市北区駅前1番5

参加者数 **200人**
交流懇親会参加料 **12,000円**

主催:全国中小企業団体中央会・全国レディース中央会
共催:岡山県中小企業団体中央会・岡山県ものづくり女性中央会



2023 Ladies Chuokai National Forum in OKAYAMA

フォーラム 開場 12時30分～ 受付(4階 フェニックスの間)

1 開会 13時30分

2 主催者挨拶
全国中小企業団体中央会 会長 森 洋
全国レディース中央会 会長 吉田 陽子

3 来賓祝辞

4 基調講演 13時50分～15時00分
過去の歴史と明るい未来の結実点としての現在

講師 公益財団法人大原美術館 代表理事 大原あかね 氏
1967年生まれ、一橋大学法学部卒業、青山女子大学大学院国際総合研究学術院に在籍。
全経連系研究員として3年在籍。2000年大原美術館理事、11年同美術館理事として館の運営に携わる。16年7月、5代目の館長に就任。
現在、第3代館長として法人の経営に携わり、(社)大原美術館代表理事、(社)大原美術館代表理事、(一社)岡山県多岐友会理事、和食工業(株)社外取締役、(大)岡山大学理事、倉敷市教育委員、倉敷市工芸振興会副会長のほか、数々の役員に在籍。

5 講演+パネルディスカッション 15時15分～16時50分

町工場の娘 ～主婦から社長になった2代目の10年戦争～

講師 ダイワ精工株式会社 代表取締役 諏訪 貴子 氏
(1971年生まれ、専攻大岡山大学社会学部、ユニオンジュニア(旧:日本Aetna))でユニオンジュニアで働く。2004年、父の死去により社長に就任。新しい社長を模索し、専攻が経営学助成金として活躍中、日経Woman of the year 2013 大賞を受賞。ユニースZEROで日経Womanのメディアに多数出演し、現在、新しい社長を模索中。経営者としての成長と課題を話している。

パネルディスカッション
岡山県ものづくり女性中央会の取組 ～会員から地域へ、次世代へ～

パネリスト 株式会社フジワテクノアート 代表取締役社長 藤原 加奈 氏 (岡山県ものづくり女性中央会会長)	パネリスト 倉敷ボーリング機工株式会社 代表取締役社長 佐古 さや香 氏 (岡山県ものづくり女性中央会副会長)
パネリスト 金田コーポレーション株式会社 代表取締役 畑島 美緒 氏 (岡山県ものづくり女性中央会副会長)	パネリスト オサカダツル株式会社 代表取締役 牧 明奈 氏 (岡山県ものづくり女性中央会副会長)

1976年岡山県生まれ、2000年大岡山大学社会学部卒業。専攻が経営学助成金として活躍中、日経Woman of the year 2013 大賞を受賞。ユニースZEROで日経Womanのメディアに多数出演し、現在、新しい社長を模索中。経営者としての成長と課題を話している。

1976年岡山県生まれ、2000年大岡山大学社会学部卒業。専攻が経営学助成金として活躍中、日経Woman of the year 2013 大賞を受賞。ユニースZEROで日経Womanのメディアに多数出演し、現在、新しい社長を模索中。経営者としての成長と課題を話している。

1976年岡山県生まれ、2000年大岡山大学社会学部卒業。専攻が経営学助成金として活躍中、日経Woman of the year 2013 大賞を受賞。ユニースZEROで日経Womanのメディアに多数出演し、現在、新しい社長を模索中。経営者としての成長と課題を話している。

3

全国レディース中央会
リレーインタビュー

全国レディース中央会 リレーインタビュー

CASE

01

茨城県レディース中央会 会長

溝口 恵子

「For a change」

自分が変わらなければ、

人は変わらない



決断は、今夜か？

私は、昭和 47 年の春に縁あって鍍金業を営む「溝口鍍金株式会社」の次期経営者と結婚しました。

専業農家に生まれ農地を耕す日々でしたので、まさか商売を営む家に嫁ぐことになるとは、考えてもいませんでした。

あれから51年、予期せぬ出来事の連続でした。

嫁いで1ヶ月が経ったころ、夕食も済みゆっくりしていると何やら、夫と義父の2人がヒソヒソ話をしていました。「深入りは、出来ない」と思いながらも時折聞こえるのは、経営がどうもうまくいかず夜逃げの計画をしている様子でした。「とんでもないことになりそうだ。でも今夜逃げるって言ったってどうするの」と、一人悩みましたが、よくよく考えると夜逃げには、多少の資金を持たないと決行出来るわけがなく、結局その計画は実行不可能となりました。今となっては、懐かしい思い出です。

本社工場事務所▶



◀第2工場

救いの神と出逢う

嫁いだ頃の我が社は、生涯の夢を乗せて造った工場や手塩にかけて育てた従業員を半分に削減し再起をかけた日々で、暗中模索を繰り返しておりました。夫と義父は、連日の様に同業の会社訪問をし、祈る思いで仕事探しをしていると、「業界で誰もが手を出さない高規格な鍍金の仕事ならあります」とのことで、藁をもつかむ思いでその仕事を受注しました。高規格

であるため高い技術力が必要となり、試行錯誤しながら現場で私も仕事をしました。

また、我が社は当初、トップダウン型の組織でしたが、「社員がやる気を持っていきいきと働くためにはどうしたらいいか」と考えた時にボトムアップ型の組織に変革したことで、一人ひとりが意見を出しやすい風通しのよい職場に変わっていき、売上アップにも結び付きました。この出来事を機に「自分が変わらなければ、人は変わらない」ということを感じました。

時代と共に機械化が進み、仕事は増え、工場は増築増設に追われ、いつの間にか、2工場の操業となり、現在は自動車用部品（重要保安部品）・軽量鉄骨住宅建材部品・その他関連部品など3部門で工場を操業しています。



また、住宅メーカーから、「最近の住宅は、洋風建築が多くなったが、洋風庭園を造る会社がない」との話を聞き、即行動がモットーの我が社は将来に向けて情報収集をしました。そして、長女が大学卒業後に洋風ナチュラルガーデンを学ぶために英国ロンドンのガーデンスクールに入学。その後、庭造りの関連子会社「株式会社 M's PLANNING」を設立し、以来 20 年間、地域のお客様と共に地球に優しいお庭を提案させていただいております。

レディース中央会との出会い

レディース中央会との出会いは、夫がきっかけです。夫が出席した中央会の理事会で中央会から「女性活

躍の場を創るためレディース中央会の設立にご協力いただきたい」と夫が依頼を受け、理事の奥様で賛同を得られた方が発起人となり、私も発起人のメンバーとなりました。平成 14 年の設立以降、「しなやかに、繊細にそしてアクティブに」をスローガンに、研修会や交流会を実施しています。

初代会長には茨城県ホテル旅館生活衛生同業組合女将の会の吉岡鞠子氏が就任し、2 代目会長に茨城県鍍金工業組合女性経営者の会の私が就任し現在に至っております。ずっと自社の仕事ばかりしてきたので、団体の会議などに出席する機会はなかったのですが、普段関わることのない様々な業種の方とお友達になることができ、会員らの前向きに仕事に取り組む姿勢はとても刺激になり、つらい時はみんなで励ましあいながら、様々なことを勉強させていただいております。

現況を踏まえた未来

ここ数年、皆様方もご存じの通り新型コロナ感染拡大・ロシアのウクライナ侵攻等による経営状況の悪化や後継者不足等により企業数が減少しています。私が所属する茨城県鍍金工業組合の組合員数も減少傾向にあります。また、レディース中央会もその影響を少なからず受けており会員数の減少は喫緊の課題となっており、新規女性部等の設立や未加入女性部等の加入促進活動に注力していきたいと存じます。

生産年齢人口が減少する中で、中小企業や組合運営において、女性の活躍は今後ますます重要視されていくと思います。レディース中央会では、女性の経営意識を高めるとともに、中小企業や業界の振興・発展に寄与するため、引き続き時宜を得た適切な情報発信や誰もが進んで参加したいと思う魅力ある事業を実施していきたいと思います。

全国レディース中央会 リレーインタビュー

CASE

02

東京都中小企業団体レディース会 会長

奥田 正子

洋傘店4代目
世の中の変化に
対応して

株式会社市原は、1946年に紳士向け服飾雑貨（ベルト、サスペンダー、革小物、洋傘など）を企画・デザイン・製造をする会社として創業しました。私の父親は、戦前より紳士物ベルトなどのデザインに従事し、メンズファッション業界の草分け的存在でした。1960年代にアイビールック、1970年代にトラッドというブームが起きた時に、百貨店、アパレルメーカーに流行の先端に行くベルト、カフスボタン、ネクタイピン、サスペンダーなどの企画・デザイン・製造を手がけました。特に洋傘は、ヨーロッパの傘作りを目指していたこともあり、紳士物の傘の中でもファッション性に優れた傘を発表しておりました。物作りの市原と言われ、「高感度（ファッション）、高品質」を保ち、長くご愛好いただく中で、新感覚の生地を使用、黄銅メッキの骨、木の心棒、木の手元の斬新な傘を発表したところ、業界の方々、おしゃれな男性の皆様から絶大な支持を得ました。メンズの傘なら「市原 Ramuda」と言っていただけになりました。

昨年、織研新聞（業界新聞）22年度百貨店バイヤーズ賞メンズ部門賞、「キラリ賞」を受賞いたしました。【受賞理由、キラリ賞は大都市を中心に、自主編集売り場などで評判が高く、企画力やクリエイションに優れたブランドを選出する。老舗傘メーカー、市原の傘は、生地のクオリティーが高く、細部まで職人技の光る傘で、一般消費者はもちろん、扱っている百貨店のフロア社員のほとんどが使用するほどの高評価を現場からも得ている。】織研新聞抜粋。

昭和の終わり頃に父親が会長となり、兄が二代目を継ぎ、デザイン・開発にセンスの良い作品を送り出してくれておりました。その兄が急逝。革製造部門におりました弟（次男）が三代目を継ぎました。このころに、ニットデザイナーをしておりました私も入社いたします。

雨が降るのが待ち遠しくなる上質で洗練された傘、自社ブランド「Ramuda」の傘。そんなこなしておりますうちに傘職人となっておりました。私は職人の中でも一点物を扱います。今は、大島紬の織元さんからのご依頼で、大島紬を使った傘を製作途中です。市原の傘のこだわり、「谷落ちといわれる、骨と骨の間に谷間のように落ちているように見える」張り方。長年にわたりこのフォルムが傘製造の基盤となっています。

傘に対する熱意とデザイン力、お取引先様への対応を経営にも生かすべきとのことから、2005年に社

長交代。私が四代目の社長となりました。コロナ禍の少し前までは、よい商品を提供していることで商売は安定しておりましたが、コロナ禍少し前から消費動向は変わり始めました。

ファッション関係 OEM「相手先ブランド製造」も少なくなり、出歩いてのんびりとお買い物をするのが少なくなった今の時代、職人が手をかけて製作した自社の商品を SMS で一般消費者の皆様へ届けられる SMS を使いこなせるスタッフ、職人もその SMS を道具の一つとして使いこなせるよう、今の私もどんなツールを使用し、何をしたいのかを明確にしながら頑張っているところです。



◀ '22 全国フォーラム in 青森にて
松岡副会長と参加

懇親会にて▶
全国の女性経営者の皆様と
交流を深めました



全国レディース中央会 リレーインタビュー

CASE

03

山梨県中小企業団体中央会 女性部会 会長

星 ちえ子

関わった全ての人が
幸せでありますように



私には有限会社ばるプランニングシステム（1994年創業）代表取締役、株式会社 GEN（2004年創業）代表取締役、一般社団法人やまなし新事業創出機構（2023年創業）業務執行理事という役割があります。毎朝朝礼で「関わった全ての人が幸せでありますように」と声を合わせ、一日が始まります。

ばるプランニングシステムは音楽教室を中心に、話し方や英会話、そしてブライダルの企画・演出・司会を担当する会社です。

株式会社 GEN はブライダルビレッジティンカーベルを軸に社員食堂や請負・派遣・保険と多種にわたる異業種の集まりで、180人の社員さんが所属しています。

一般社団法人やまなし新事業創出機構はまだ歩き始めたばかりですが、各市町村の産業・観光活性化のつなぎ役になろうと準備をしています。

私が今このようなステージに立つことになったきっかけは高校2年生の時にある出来事があったからです。

話があるから職員室へ来るようにと言われて職員室の

ドアを開けた時、先生は黙って下を向き考えている様子。だんだん顔が赤くなり相当ご立腹なのかと、私は直立不動で先生の言葉を待っていました。

すると「来月結婚するので、披露宴でピアノを弾いてくれないか」と言うことでした。

ハンサムとは言えない先生が美人の音楽の先生と結婚するなんて信じられない出来事でした。その日のうちに結婚式のピアノ曲集を購入し、楽しくて嬉しくてとても待ち遠しく、毎日練習しました。結婚式を迎えたその日、私にとっては驚きの連続でした。先生はとてもかっこよかったし、出席されている先生方も皆きれいで、笑顔で「おめでとう」「ありがとう」の言葉は、その会場の空気を温かく優しく包み込むように感じたからです。私にとっては初めての結婚式の演奏でしたが、今まで感じたことのない緊張感と達成感に心地よさを感じました。その時が「幸せのお手伝いができる仕事をしてみたい」と将来の事など考えたことがなかった私がそう思った瞬間でもありました。大学ノー

トの切れ端に自分の名前と住所と電話番号を走り書きし、フロントにいた女性に「もし手が足りない時はいつでも演奏します。ご連絡ください」と言ってメモ書きを渡しました。その後幸運なことに、毎週末結婚式の仕事に関わることになりました。

20歳で結婚し出産をした時も、家族や仲間に恵まれ、幸せの仕事はずっと続けることができました。

ところが私が33歳の時、10歳離れた弟が事故で障害者になってしまいました。「生きていてよかった」と思ってもらいたい、そう願う一心で、結婚式や音楽教室をベースに法人化することで弟を一生雇用しようと決意しました。

今、両親はもちろん、残念なことに一人息子も事故で、夫も癌で他界しました。

だからこそ、**当たり前**の幸せの尊さを痛感するこの頃です。

人生は振り子のようだと思います。マイナスが大きい分プラスもそれ以上に大きく、これからは、より魅力的な会社として成長し、後継者となり得る人を育てたいと考えています。

あれから40年。結婚式のスタイルは変わったけれど、**おめでとう、ありがとうの笑顔は変わらない**し、今でも「結婚式って良いなあ」と思う気持ちは全く変わりません。



全国レディース中央会 リレーインタビュー

CASE

04

石川県中小企業団体中央会女性部 副会長

泉崎 富子

職業の利益追求以前に
一人の仲間をいたわること
を総てとし!



私は、理美容業を営む経営者の団体に所属し、「職業の利益追求以前に一人の仲間をいたわること総てとし!」を基本軌道に、仲間をいたわらることを基本理念に、学び合い、磨き合い、気づき合い、日々切磋琢磨し、地域一番の信頼を得ることを信条にして活動しています。

私の職業は、美容家です。縁した人と共に豊かに!を願い、三者満足の経営理念を掲げ、取り組んで、「お客様に喜んでもらうことが喜びです」の感動産業を営んでまいりました。とくにコロナ禍の中で荒みがちな心に寄り添い、笑顔になっていただいた瞬間に、そのことを強く確信しました。

現在は現場を卒業し、後輩の育成に力を入れています。働きやすい環境整備は私の仕事。そのために、職業訓練校を設立し、早期育成と人材輩出を強化してきました。

また、子育てママが安心して働くことができるよう応援したいとの思いから社内に託児所を開設したり、地

域社会の環境浄化活動や海外の貧困国へ寺子屋、井戸を寄付し現地の子供達に技術指導を行うなど社会貢献事業にも取り組んできました。

石川中央会女性部へは、平成27年4月に入会させていただき、8年が経過しました。今は亡き竹川会長には入会以来、懐の広さと持ち前の明るさで、たくさんの学びをいただきました。

令和3年5月に現・記州陽子会長のもと副会長という大任を預かり、コロナ禍で活動も縮小されるなか、中央会の事務局役員の皆様の多大なご支援やご指導のもと、昨年はSDGsに貢献している石川の県木を使い、世界にまでも貢献し成功している方や、地元SDGsでのご活躍の方をゲストに迎えての研修会、講



◀ 地域で活躍する方を招いての研修会

演会が開催されました。

また訪問事業では、能登の増穂浦ショッピングモールを訪問。貸切バスでのツアーで、久々に車中でも会員同士の親睦が図られ、意見交換会も充実しました。多種多様な異業種の方々との情報交換の場となり、成果がありました。

その他に「組合女性部活動啓発セミナー」（女性部加入促進懇談会）の開催、「組合別研修会」（13組合）の開催、「組合女性部連携強化事業」（全国フォーラム参加を含む）の実施等々。

四季折々の美しい自然と豊かで恵まれた山の幸、海の幸、さらには先達者が築いてきた伝統工芸、文化が薫る大好きな石川県で、今コロナも5類に分類され、経済も徐々に回復してまいりましたので、さらに**活性発展を願い、AIも活用しながら苦手なDXにも積極的に挑戦し、変化に柔軟に対応できる自分づくりと業界の発展に尽力してまいりたい**と思います。

石川中央会女性部の皆様と共に、**一緒に学ぶことに感謝をしながら、生涯青春!!の精神で活動して**まいります。



◀訪問事業での意見交換会

訪問事業の様子▶



全国レディース中央会 リレーインタビュー

CASE

05

山口県中小企業団体中央会
女性活躍推進協議会 会長

宮本 ゆり子

鉄筋工事業の女性社長、
配偶者の死を
乗り越えて

私は山口県で鉄筋工事業の会社をしております。熊本県生まれの福岡県育ちで、先代の社長である故宮本勇次と結婚後に縁あって山口県へ移住し、3人の子育てに奮闘しながら宮本工業㈱を支えていましたが、平成13年の先代社長死去に伴い代表取締役就任しました。

宮本工業㈱を立ち上げたのは山口へ移住し10年ぐらいたったときに、勤めていた鉄筋工事会社が倒産してしまいました。そのなかで携わっていた山口営業所だけが動いている状態で、宮本さんが独立するんだったら応援してあげましょう、ということで、この鉄筋工事業 宮本工業を始めたのがそのいきさつです。

その時思った事は、この人はサラリーマンでお金もない、財産もない。なんて大風呂敷なことを言う人なんだろうということで、私も躊躇しました。私はサラリーマンの娘でしたので、安定した会社に勤めて、毎日夕方5時か6時に帰ってくる主人と子どもたちが接しているのが一番幸せな時間でした。それが180度人生が

変わって、帰ってこない日が毎日続くということのはじまりでした。それからは夜も昼もなく、主人に会いに行くのには夜遅くお弁当を持っていくという時間が親子の時間となりました。

平成13年2月1日に、創業15周年の祝賀会をしましたが、5月の連休が明けたときには主人はもう肝臓がんの末期で、余命1カ月ぐらいだということでした。

8月15日に主人は亡くなりましたが、告知されて3カ月のあいだに自分たちはこれから宮本工業をどうやっていくんだろうかということで、非常に悩みました。

ほかの方からの後押しもあり社長に就任し、会社を続けていくことにしましたが、男性社会のなかに自分が入っていくということに躊躇したりもしました。

そんなある日、高校生の息子に「お母さんいいね、男の人のなかに囲まれて、逆ハーレムじゃない」と言われ、「そうだねー」と話し、息子の明るい声掛けにふっきれました。

主人が亡くなって3年目ぐらいに、娘から「お母さ

んは何も趣味がないからゴルフでもしたらどうか」と言われゴルフを始めて、いまではゴルフが好きです。自慢じゃありませんが、男性と同じスタート地点からまわって、この前 87 でした。これが今私の一番の楽しみです。

主人を亡くした事は非常に残念でしたが、いま全国鉄筋組合の方からいろんなところに誘われて、各地に行くことが出来るのも、家族からの声掛けや周囲の励ましにより前向きになれたからだと思います。

社長に就任した後、大型物件の施工が立て続けに続きました。中でも建築家の磯崎新氏が設計した山口情報芸術センターは形が流線形をしており、現在「優良ホール 100 選」に中四国地方で唯一選出され、平成 20 年、一般社団法人公共建築協会による第 11 回公共建築賞文化施設部門受賞建築物に選ばれたこの物件の施工中は余裕がなく、夜遅くまで残業が続き、社員共々疲労はピークに達していました。

その時に、このままでは続けて行くことが難しいと考え、ここでも前向き精神を発揮し一念発起し、工場生産の効率化を図ることを目的として、その当時最

新型であった切断から加工までを自動で行う機械を導入しました。結果、生産性が上がり残業が減り、更に受け継いだ時からあった機械を年々新しくして行くことで生産率の向上に成功しました。生産率が上がることで、残業時間の減少と並行して、現在では社員の離職率も下がって来たのではないかと思います。また、社員の健康維持や働き方改革の一環として、休日の確保や働く環境の整備として就業規則の見直しを図り、女性が活躍出来るようにと平成 30 年に社屋を建て替えました。結果、令和 2 年 4 月には女性社員が入社しました。建設業で現場職。さらには鉄筋工事業という専門工事業の従事。なかなか難しいと思われている世界に飛び込んでくれた女性がいることは、他の社員にもいい影響となっています。

「女性活躍」と「担い手不足の解消と技術の継承」を胸に、鉄筋業界の女性活躍や若手発展の場を広げるために奮闘し、会社では、母親目線で従業員の精神的まとめ役を担いながら先代社長から続く「未来につながるものづくり」をポリシーに勇往邁進していこうと思います。

外観▶



◀女性社員が現場で活躍しています

令和5年度 組合女性部活性化研究会

成果報告書

令和6年3月

全国中小企業団体中央会

〒104-0033 東京都中央区新川 1-26-19 全中・全味ビル

TEL. 03-3523-4905 FAX. 03-3523-4910



全国中小企業団体中央会